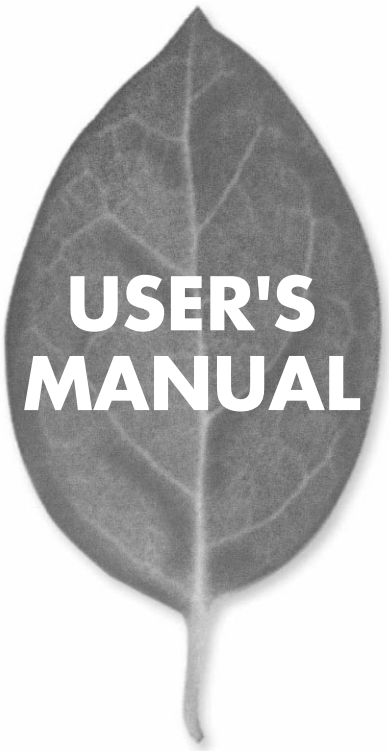




USER'S MANUAL

11Mbps 無線 LAN PC カード

GW-NS11C

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

USER'S MANUAL

11Mbps 無線LAN PCカード

GW-NS11C

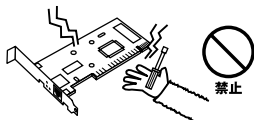
本製品を安全にお使いいただくために

⚠ 警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

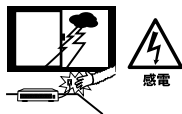
分解・改造・修理はダメ!

製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



雷のときはさわらないで!

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



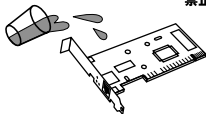
正しい電圧で使用して!

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



液体・異物はいれなくて!

製品に液体や異物が付着すると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。万一異物や液体が入ってしまった場合は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。



設置・保管場所をもう一度確認して!

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・直射日光のあたる場所、高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
- ・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある場所）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所
- ・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
- ・腐食性のガスが発生する場所



このマニュアルの構成

本マニュアルは以下のような構成になっています。

■ 必ずお読みください

.....

第1章 はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。かならずお読みください。

■ ご試用方法

第2章 アダプタのインストール

本製品のインストール前の準備及び手順の概略について説明します。

第3章 Windows 98/98SEへのドライバインストール

本製品をWindows98/98SEで使用する設定方法について説明します。

第4章 Windows Meへのドライバインストール

本製品をWindowsMeで使用する設定方法について説明します。

第5章 Windows 2000へのドライバインストール

本製品をWindows2000で使用する設定方法について説明します。

第6章 Windows XPへのドライバインストール

本製品をWindowsXPで使用する設定方法について説明します。

第7章 設定ユーティリティのインストールと設定

本製品の設定ユーティリティのインストールについて説明します。

第8章 簡単設定

本製品を無線ネットワークに接続するための設定について説明します。

■ 付録

.....

付録A トラブルシューティング

「トラブルかな？」と思われる場合の対処方法について説明します。

付録B 仕様

本製品の仕様について説明します。

付録C 設定環境についての注意

設置環境への注意について説明します。

● マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

● 記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

使用前にお読み下さい

本製品は電波法で定められた小電力データ通信システムの無線局の無線設備として技術基準適合証明を取得済みの製品です。そのため、日本国内のみの使用目的において無線局の免許は必要ありません。

◎法律により次の行為は禁止されています。

- ・改造および分解（アンテナ部分を含む）
- ・適合証明ラベルの剥離

1.本製品で使用する1～14チャンネルの周波数帯は、医療機器、電子レンジ等の産業・科学機器のほか工場の生産ライン等で使用される移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局と重複しているため、電波の干渉による障害が発生する可能性があります。本製品の使用を開始する前に必ず本製品の干渉距離内に移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認の上使用を開始してください。本製品は、工場出荷設定で移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局と干渉しない1～4チャンネルに設定されています。

- 使用周波数帯域・・・・・・・・・・・・・・・・・・2.4GHz
- 変調方式・・・・・・・・・・・・・・・・・・DS-SS方式
- 想定干渉距離・・・・・・・・・・・・・・・・・・40m以下
- 周波数変更の可否2400～2497.5GHzまでの帯域を使用し移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局で使用される帯域を回避可能

2.万一本製品から移動体識別用の構内無線局にたいして電波の干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更するか本製品の使用を中止してください。

3.その他、本製品から移動体識別用の特定省電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた場合は弊社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

目次

本製品を安全にお使いいただくために	4
-------------------	---

第1章 はじめに

1.概要	11
2.特長	12
3.対応機種および対応OS	13
4.梱包内容の確認	14
5.各部の名称	15

第2章 アダプタのインストール

1.アダプタインストール	17
2.無線LANネットワークについて	18

第3章 Windows 98/98SEへのドライバインストール

1.ドライバのインストール	19
2.インストールの確認	24
3.ネットワーク設定	29
4.アダプタの取り外し	42
5.ドライバの削除方法	44

第4章 Windows Meへのドライバインストール

1.ドライバのインストール	49
2.インストールの確認	54
3.ネットワーク設定	59
4.アダプタの取り外し	71
5.ドライバの削除方法	73

第5章 Windows 2000へのドライバインストール

1.ドライバのインストール	77
2.インストールの確認	83
3.ネットワーク設定	88
4.アダプタの取り外し	98
5.ドライバの削除方法	100

第6章 Windows XPへのドライバインストール

1.ドライバのインストール	107
2.インストールの確認	114
3.ネットワーク設定	120
4.アダプタの取り外し	132
5.ドライバの削除方法	133

第7章 設定ユーティリティのインストールと設定

1.設定ユーティリティのインストール	137
2.設定ユーティリティを使用する	141

第8章 簡単設定153

付録A トラブルシューティング159

付録B 仕様165

付録C 設置環境への注意167

ユーザー登録について174

弊社へのお問い合わせ175

質問表176

保証規定178

はじめに

1 概要

本製品はCardBusスロットをもつDOS/Vコンピュータ上で使用可能なワイヤレスLANアダプタです。本製品を使用することでケーブルの配線、工事等を行うことなくネットワークの構築が可能になります。IEEE802.11及びIEEE802.11bに準拠し伝送速度は11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbpsに対応しています。アクセスポイントを使用するインフラストラクチャモードや端末同士で通信出来るアドホックモードをサポートしローミング機能によりサービスセット間を移動してもアクセスポイントを再認識させることなく使用可能です。また64bit (40)、128bit WEPを使用することで堅牢なセキュリティを保つことが出来ます。

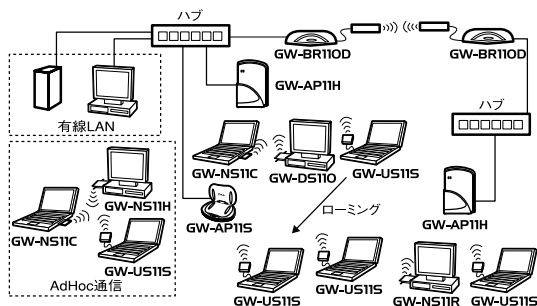


図1-1 ワイヤレスLAN構築図

2 特長

- IEEE802.11/IEEE802.11b準拠
- PC Card standart Card Bus準拠
- ARIB STD-33A/STD-T66準拠
- ノイズに強いDS-SS方式
- 2.4GHz周波数帯を使用
- 14チャンネルサポート
- 11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbpsを自動認識
- 64（40）bit、128bitWEP機能により堅牢なセキュリティを実現
- 通信状況が簡単に確認できる2つのLEDを装備
- 異なるアクセスポイント間を移動可能なローミング機能に対応
- 設定ユーティリティ付属

本製品の対応機種および対応OSは以下のようになっています。

●PC/AT互換機

- Windows98
- Windows98 Second Edition
- WindowsMe
- Windows2000 Professional
- WindowsXP Home Edition/Professional

4 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

- GW-NS11C 11Mbps 無線LAN PCカード
- ドライバ&ユーティリティCD-ROM 1枚
- このユーザーズマニュアル
- 保証書

5 各部の名称

本製品本体にはコンピューターに接続するための68ピンコネクタとデータを送受信するためのアンテナ部があります。

1

はじめに



図1-2 GW-NS11C

本製品には2つのLEDインディケータを備えています。

<Link>

ワイヤレスネットワークが確立された場合に点灯します。
確立されていない場合は消灯します。

<Act>

データの送受信が行われているときに点滅します。

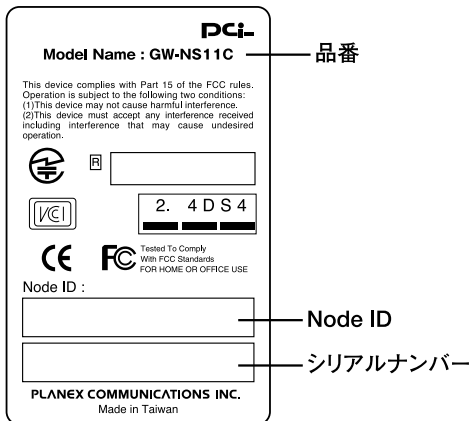


図1-3 カード裏面

<Node ID>

本製品に固有のNode ID（MACアドレス）が記載されています。

<シリアルナンバー>

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザー登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要となります。

アダプタのインストール

2

アダプタのインストール

本 章では本製品のコンピュータへのインストール方法について説明します。本製品のインストールは以下の手順で行います。

1 アダプタインストール

1. コンピュータの電源を切ります。
2. 本製品のラベル面を上にしてコンピュータの空いているPCカードスロットに挿入します。

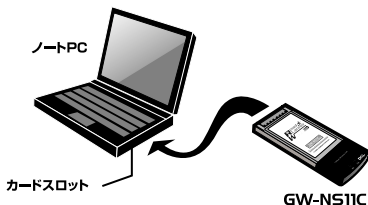


図2-1 PCカードスロットへの挿入

⚠ 注意

- ・アダプタのインストールを行う前に必ずドライバインストールを行ってください。
- ・通常は本製品のラベル面を上にしてコンピュータに挿入しますが、コンピュータの機種によってはラベル面が下になる場合もあります。コンピュータのマニュアルをご確認ください。また、本製品はCardBus準拠です。PC Card 専用スロットには取り付け出来ません。

2 無線LANネットワークについて

無線LANカードを取り付けたパソコンで通信を行う方法について説明します。

●Ad-Hocモード

Ad-Hocモードとは各無線端末がアクセスポイントを介さずに相互に直接通信するネットワークタイプです。アクセスポイントを介さないため無線LAN機器同士によるネットワークしか構築できません。

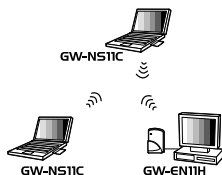


図2-2 Ad-Hocモード構築図

●Infrastructure モード

Infrastructure モードとは各無線端末がアクセスポイントと呼ばれる無線機器を経由して他の端末と接続するネットワークタイプです。アクセスポイントを経由するため通常の有線LANとのブリッジ接続ができ、有線と無線の混在したネットワークを構築することが可能です。

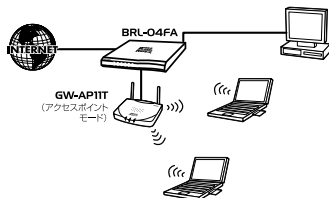


図2-3 Infrastructureモード構築図

Windows 98/98SEへの ドライバインストール

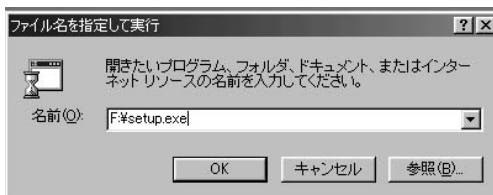
ここでは本製品をWindows 98/98SEで使用する場合のドライバのインストール方法について説明します

1 ドライバのインストール

1. 本製品に付属のドライバCD-ROMをコンピューターのCD-ROMに挿入します。
2. 「スタート」から「ファイル名を指定して実行」を選択します。



3. 「ファイル名を指定して実行」の画面が表示されます。「名前」欄に「F:\setup.exe」（CD-ROMドライブがFドライブの場合）を入力して「OK」ボタンをクリックします。



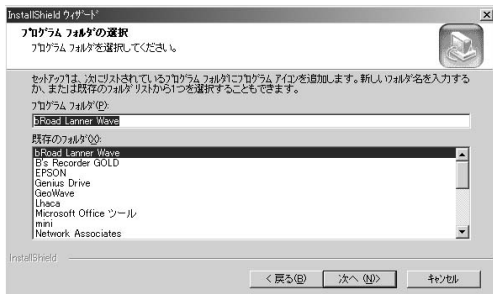
4. ドライバ及びユーティリティのインストーラーが起動します。「次へ」をクリックします。



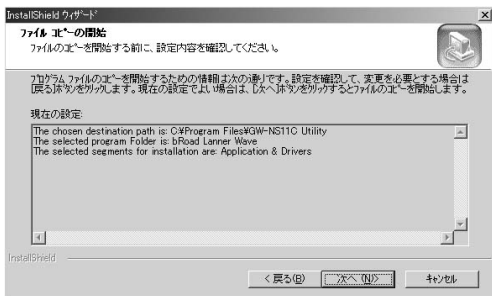
5. インストール先のパスを指定するウィンドウが表示されます。インストール先のパスを変更する場合は「参照」をクリックします。続行する場合は「次へ」をクリックします。



6. プログラムメニューに追加するフォルダ名を指定するウィンドウが表示されます。変更するときは、新しいフォルダ名を入力してください。続行する場合は、「次へ」ボタンをクリックしてください。



7. インストールの設定を確認するウィンドウが表示されます。設定内容を確認して「次へ」をクリックします。ユーティリティのインストールがはじまります。



8. 「Install Shield ウィザードの完了」の画面が表示されます。「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択してから [完了] ボタンをクリックします。



9. コンピュータを再起動後、本製品をコンピュータのPCカードスロットにセットします。
10. 本製品が自動的に認識されドライバが自動的にインストールされます。

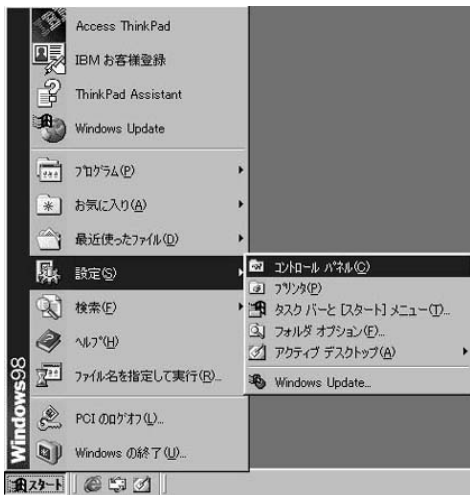
 注意

ファイルのコピーにWindows 98のファイルが要求された場合はWindows 98のCD-ROMをセットしディレクトリ名を入力してください。(例：CD-ROMドライブがFドライブの場合は F：\win98と入力します。またWindows 98プリインストールのコンピューターではc：\windows\options\cabsと入力します。)

2 インストールの確認

ドライバのインストールが終了したら下記の手順でインストールが正常に終了したかを確認します。

1. 「スタート」をクリックし、スタートメニューから「設定」→「コントロールパネル」を選択します。



2. 「コントロールパネル」の画面が表示されますので「システム」をダブルクリックします。「システムのプロパティ」の画面が表示されますので「デバイスマネージャ」のタブをクリックします。



3. 「デバイスマネージャ」の画面が表示されますので「ネットワークアダプタ」の左の「+」をクリックし「PLANEX GW-NS11C Wireless LAN PC Card」が表示されてるか確認します。ネットワークアダプタの下に「PLANEX GW-NS11C Wireless LAN PC Card」が表示されない、またはアイコンに「!」や「?」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。ドライバを一旦削除してから【ドライバのインストール】の手順で再度インストールします。



4. 「PLANEX GW-NS11C Wireless LAN PC Card」を選択し「プロパティ」をクリックします。PLANEX GW-NS11C Wireless LAN PC Cardの「プロパティ」の画面が表示されますので「デバイスの状態」に「このデバイスは正常に動作しています。」というメッセージが表示されていればドライバのインストールは成功です。



5. 次に「リソース」のタブをクリックします。アダプタが使用しているリソース（IRQ、I/Oポート）を確認することができます。



3 ネットワーク設定

ここでは、TCP/IPそれぞれのプロトコルを使用してネットワークに接続する場合の設定について説明します。本製品のシステムのインストールが完了している事を確認してください。

●ネットワークの確認

1. 「スタート」をクリックしスタートメニューから「設定」→「コントロールパネル」を選択します。
2. 「コントロールパネル」の画面が表示されますので「ネットワーク」をダブルクリックします。

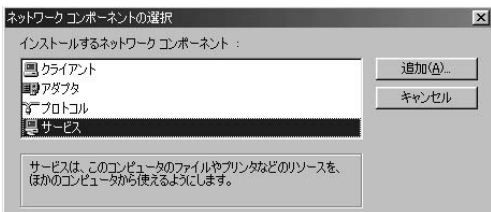


3. 「現在のネットワークコンポーネント」の画面が表示されます。コンポーネントの中に「Microsoftネットワーククライアント」、「Microsoftネットワーク共有サービス」、「TCP/IP」が入っていない場合は以下の手順で各コンポーネントを追加してください。
- すでに「Microsoftネットワーククライアント」、「Microsoftネットワーク共有サービス」、「TCP/IP」が入っている場合は、[TCP/IPの設定] へ進んでください。



●コンポーネントのインストール

1. 「ネットワーク」の画面から「追加」のボタンをクリックします。「ネットワークコンポーネントの種類の選択」の画面が表示されますので「サービス」を選択し「追加」ボタンをクリックします。



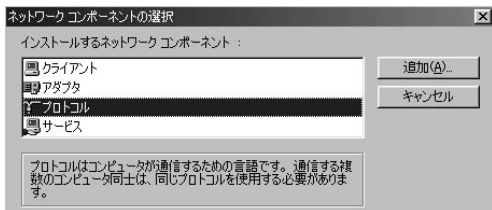
2. 「ネットワークサービスの選択」の画面が表示されますので「ネットワークサービスの選択」に表示される一覧から「Microsoftネットワーク共有サービス」を選択し「OK」ボタンをクリックします。



3. 「現在のネットワークコンポーネント」の画面に「Microsoft ネットワーク共有サービス」が追加されます。



4. 「ネットワーク」の画面から「追加」のボタンをクリックします。「ネットワークコンポーネントの種類の選択」の画面が表示されますので「プロトコル」を選択し「追加」ボタンをクリックします。



5. 「ネットワークプロトコルの選択」の画面が表示されますので「製造元」に「Microsoft」を選択し「ネットワークプロトコル」に「TCP/IP」を選択し「OK」のボタンをクリックします。



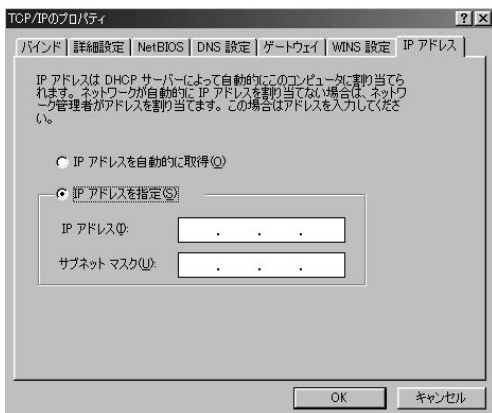
6. 「現在のネットワークコンポーネント」の画面に「TCP/IP」が追加されます。「Microsoftネットワーククライアント」がインストールされていない場合は同様の手順で「クライアント」から必要なファイルをインストールしてください。

●TCP/IPの設定

1. TCP/IPプロトコルでネットワークを構築するためには、コンピュータ（ネットワークアダプタ）ごとに固有のIPアドレスを設定する必要があります。「現在のネットワークコンポーネント」から「TCP/IP->PLANEX GW-NS11C Wireless PC Card」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックします。



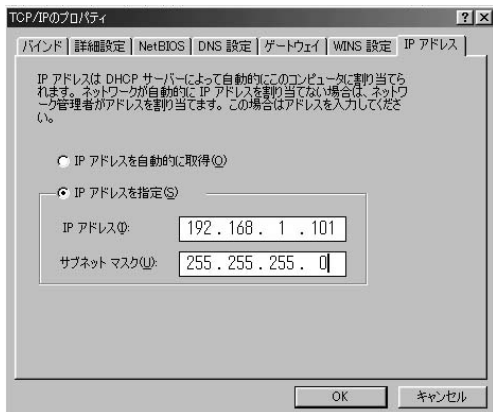
2. 「TCP/IPのプロパティ」の画面が表示されます。初期設定では「IPアドレスを自動的に取得」にチェックがされています。「IPアドレス」を固定設定する場合は「IPアドレスを指定」にチェックをします。IPアドレス、サブネットマスクが入力できるようになります。



⚠ 注意

すでにブロードバンドルータやDHCPサーバーなどによるIPアドレスの自動割当を行っているネットワークでは「IPアドレスを自動的に取得する」のままにしてください。

3. ローカルネットワークで使用する場合、IPアドレスには任意の番号を使うことができますが、ここではローカルネットワーク用のIPアドレス（Class C）として定義されている「192.168」で始まるアドレスを使用します。この例ではIPアドレスを「192.168.1.101」にサブネットマスクを「255.255.255.0」に設定しています。



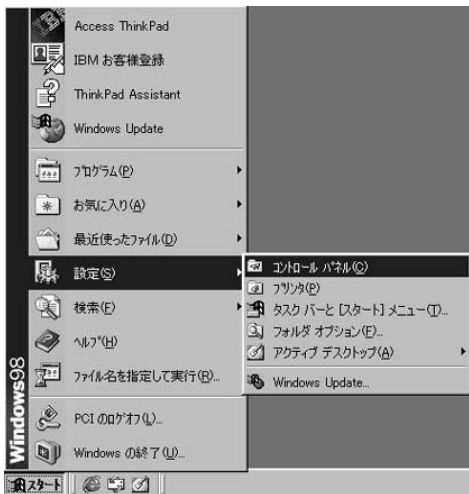
4. IPアドレスの設定が終わったら「OK」ボタンをクリックします。「ネットワーク」の画面の「OK」ボタンをクリックし画面を閉じます。再起動の要求メッセージが出ますので「はい」のボタンをクリックして再起動します

注意

IPアドレスは必ず固有のアドレスを設定する必要があります。例えば複数のパソコンをネットワークで接続した場合はそれぞれのパソコン毎に異なるアドレスを設定します。1台目のIPアドレスが「192.168.1.101」だとすると2台目を「192.168.1.102」、3台目を「192.168.1.103」、4台目を「192.168.1.104」の様に設定してください。

●ネットワークグループの設定

1. 「スタート」をクリックしスタートメニューから「設定」→「コントロールパネル」を選択します。



2. 「コントロールパネル」の画面が表示されますので「ネットワーク」をダブルクリックし「ネットワーク」の画面が表示されましたら「識別情報」のタブをクリックします。以下の各項目を入力します。



<コンピュータ名>

使用してるコンピュータに設定する名前を入力してください。ここで入力した名前が「ネットワークコンピュータ」上に表示されます。他のコンピュータと重複しないように設定してください。

<ワークグループ>

使用しているコンピュータが属するネットワークグループ名を入力します。ワークグループ名の設定が他のコンピュータと違うと所属するネットワークグループが違うために「ネットワークコンピュータ」を開いた際に他のコンピュータを表示することができなくなります。ネットワーク上の全てのコンピュータで同じワークグループ名を設定してください。

<コンピュータの説明>

使用しているコンピュータの説明を入力します。特に必要がない場合には入力しなくても構いません。

3. 「ネットワークの設定」のタブを選択します。「優先的にログオンするネットワーク」をクリックし「Microsoftネットワーククライアント」を選択します。「Microsoftネットワーククライアント」を選択できない場合は「現在のネットワーク構成」に「Microsoftネットワーククライアント」を追加してください。



4. 入力が終了したら「OK」のボタンをクリックします。再起動の要求メッセージが出ますので「OK」のボタンをクリックして再起動します。WindowsのインストールCD-ROMを要求するウィンドウが表示される場合はWindowsインストールCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。再起動後パスワードを入力してデスクトップ上のネットワークコンピュータのアイコンをダブルクリックするとネットワークが参照できるようになります。

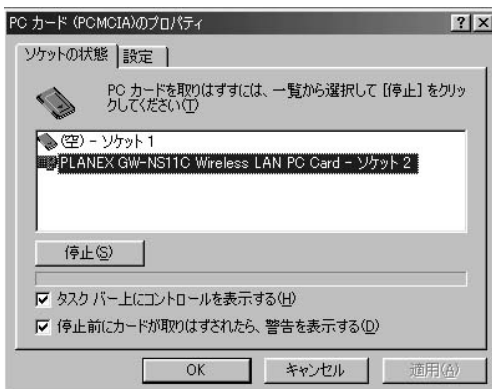
4 アダプタの取り外し

ネットワークコンピュータ上のディレクトリが開いてる場合は全て閉じます。また、ネットワークにアクセスしてる場合はアクセスが終了するまで待ちます。

1. 画面右下のタスクトレイに表示されてるPCカードアイコンをダブルクリックします。



2. 「PCカード（PCMCIA）のプロパティ」の画面が表示されますので「PLANEX GW-NS11C Wireless PC Crad」を選択し「停止」をクリックします。



3. 「このデバイスは安全に取り外せます」の画面が表示されますので「OK」をクリックします。



4. 本製品をコンピューターのPCカードスロットから取り外します。

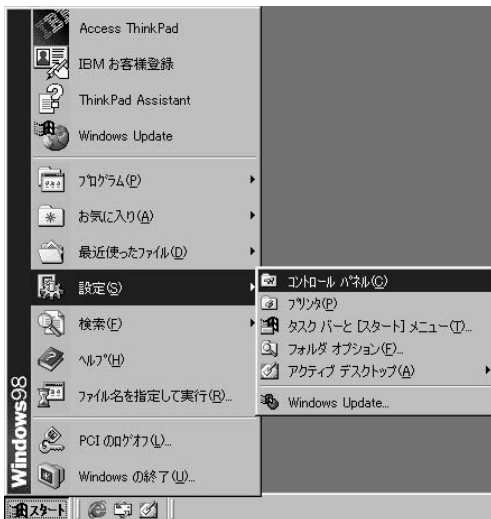
⚠ 注意

上記以外の手順で取り外しを行うとネットワークエラーが発生する可能性があります。必ず上記の手順を守って取り外しを行ってください。

5 ドライバの削除方法

ドライバの削除は以下の手順で行ってください。

1. 「スタート」をクリックしスタートメニューから「設定」→「コントロールパネル」を選択します



2. 「コントロールパネル」の画面が表示されますので「システム」をダブルクリックします。

「システムのプロパティ」の画面が表示されますので「デバイスマネージャ」のタブをクリックします。



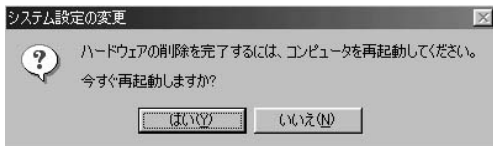
3. 「ネットワークアダプタ」の左の「+」マークをクリックすると「PLANEX GW-NS11C Wireless PC Card」が表示されますのでこれを選択し「削除」のボタンをクリックします
表示されない場合はドライバが正常にインストールされていない可能性があります。もし「その他のデバイス」が存在しその左の「+」マークをクリックしたときに「PLANEX GW-NS11C Wireless PC Card」が表示される場合はこれを選択して「削除」のボタンをクリックしてください。



4. 「デバイス削除の確認」の画面が表示されますので「OK」のボタンをクリックします。



5. 「システム設定の変更」の画面が表示され再起動の要求メッセージが出ますが「いいえ」のボタンをクリックします。コンピュータの電源を切り本製品をコンピュータから取り外してください。



Windows Meへの ドライバインストール

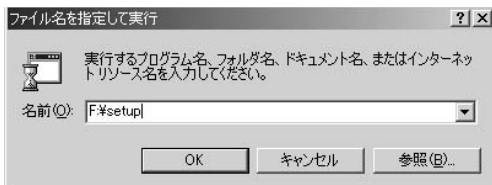
こ こでは本製品をWindows Meで使用する場合のドライバのインストール方法について説明します

1 ドライバのインストール

1. 本製品に付属のドライバCD-ROMをコンピューターのCD-ROMに挿入します。
2. 「スタート」から「ファイル名を指定して実行」を選択します。



3. 「ファイル名を指定して実行」の画面が表示されます。「名前」欄に「F:\setup.exe」（CD-ROMドライブがFドライブの場合）を入力して「OK」ボタンをクリックします。



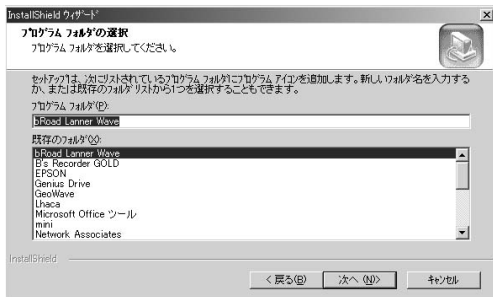
4. ドライバ及びユーティリティのインストーラーが起動します。「次へ」をクリックします。



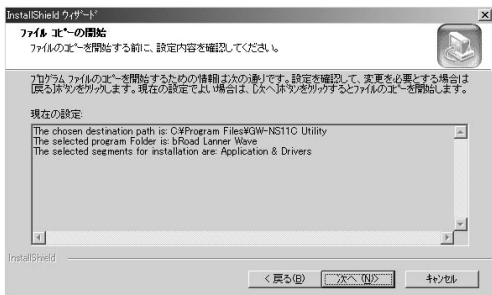
5. インストール先のパスを指定するウィンドウが表示されます。インストール先のパスを変更する場合は「参照」をクリックします。続行する場合は「次へ」をクリックします。



6. プログラムメニューに追加するフォルダ名を指定するウィンドウが表示されます。変更するときは、新しいフォルダ名を入力してください。続行する場合は、「次へ」ボタンをクリックしてください。



7. インストールの設定を確認するウィンドウが表示されます。設定内容を確認して「次へ」をクリックします。ユーティリティのインストールがはじまります。



8. 「Install Shieldウィザードの完了」の画面が表示されます。「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択してから「完了」ボタンをクリックします。

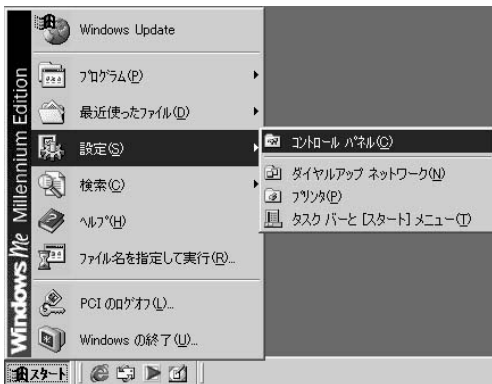


9. コンピュータを再起動後、本製品をコンピュータのPCカードスロットにセットします。
10. 本製品が自動的に認識されドライバが自動的にインストールされます。

2 インストールの確認

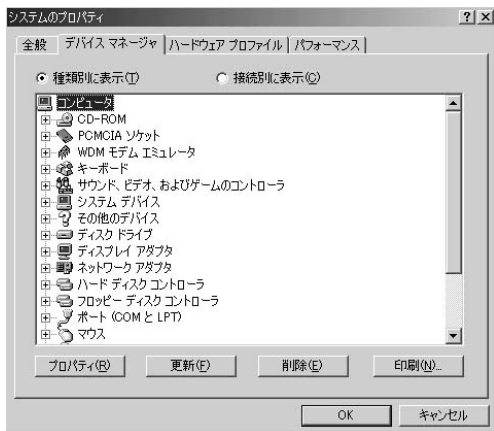
ドライバのインストールが終了したら下記の手順でインストールが正常に終了したかを確認します。

1. 「スタート」をクリックし、スタートメニューから「設定」→「コントロールパネル」を選択します。

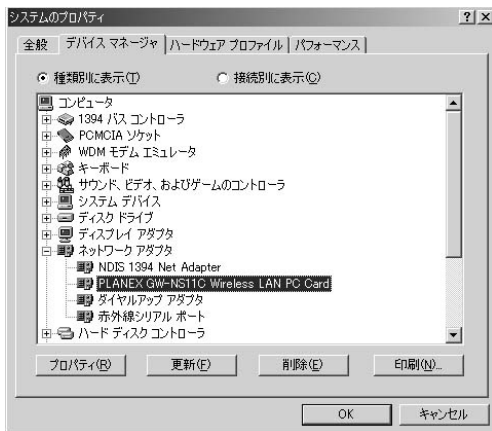


2. 「コントロールパネル」の画面が表示されますので「システム」をダブルクリックします。

「システムのプロパティ」の画面が表示されますので「デバイスマネージャ」のタブをクリックします。



3. 「デバイスマネージャー」の画面が表示されますので「ネットワークアダプタ」の左の「+」をクリックし「PLANEX GW-NS11C Wireless LAN PC Card」が表示されてるか確認します。ネットワークアダプタの下に「PLANEX GW-NS11C Wireless LAN PC Card」が表示されない、またはアイコンに「!」や「?」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。ドライバを一旦削除してから [ドライバのインストール] の手順で再度インストールします。



4. 「PLANEX GW-NS11C Wireless PC Card」を選択し「プロパティ」をクリックします。PLANEX GW-NS11C Wireless PC Cardの「プロパティ」の画面が表示されますので「デバイスの状態」に「このデバイスは正常に動作しています。」というメッセージが表示されていればドライバのインストールは成功です。



5. 次に「リソース」のタブをクリックします。アダプタが使用しているリソース（IRQ、I/Oポート）を確認することができます。



3 ネットワーク設定

ここでは、TCP/IPそれぞれのプロトコルを使用してネットワークに接続する場合の設定について説明します。本製品のシステムのインストールが完了している事を確認してください。

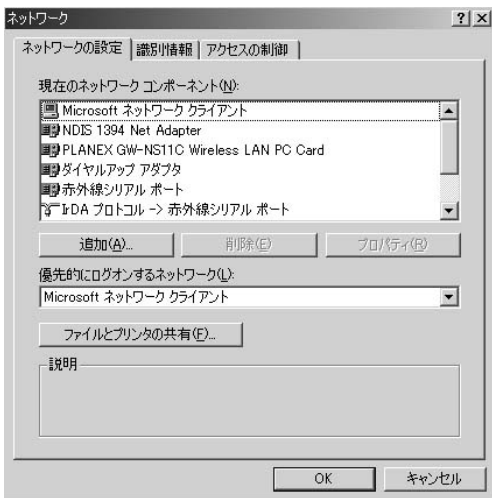
●ネットワーク設定の確認

1. 「スタート」をクリックしスタートメニューから「設定」→「コントロールパネル」を選択します。
2. 「コントロールパネル」の画面が表示されますので「ネットワーク」をダブルクリックします。



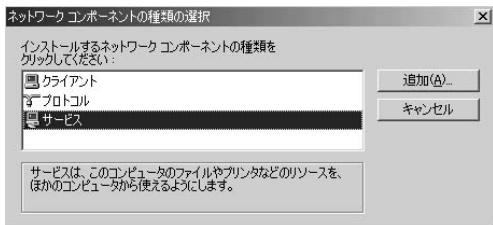
3. 「現在のネットワークコンポーネント」の画面が表示されます。コンポーネントの中に「Microsoftネットワーククライアント」、「Microsoftネットワーク共有サービス」、「TCP/IP」が入っていない場合は以下の手順で各コンポーネントを追加してください。

すでに「Microsoftネットワーククライアント」、「Microsoftネットワーク共有サービス」、「TCP/IP」が入っている場合は、[TCP/IPの設定] へ進んでください。

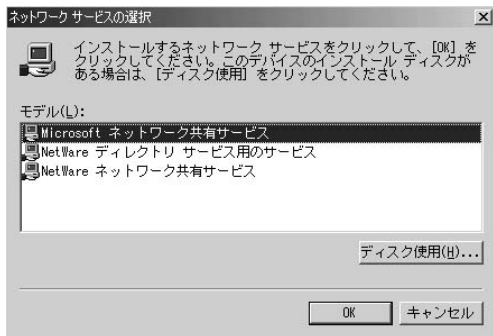


●コンポーネントのインストール

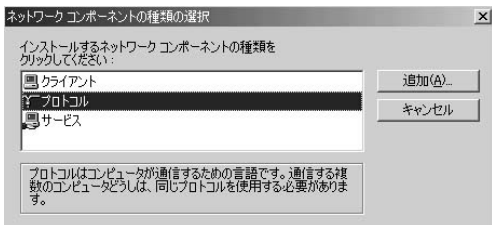
1. 「ネットワーク」の画面から「追加」のボタンをクリックします。「ネットワークコンポーネントの種類の選択」の画面が表示されますので「サービス」を選択し「追加」ボタンをクリックします。



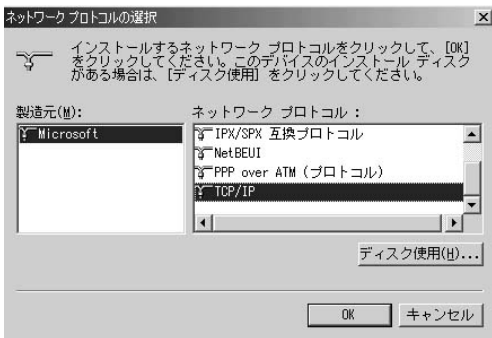
2. 「ネットワークサービスの選択」の画面が表示されますので「ネットワークサービスの選択」に表示される一覧から「Microsoftネットワーク共有サービス」を選択し「OK」ボタンをクリックします。



3. 「ネットワーク」の画面から「追加」のボタンをクリックします。「ネットワークコンポーネントの種類の選択」の画面が表示されますので「プロトコル」を選択し「追加」ボタンをクリックします。



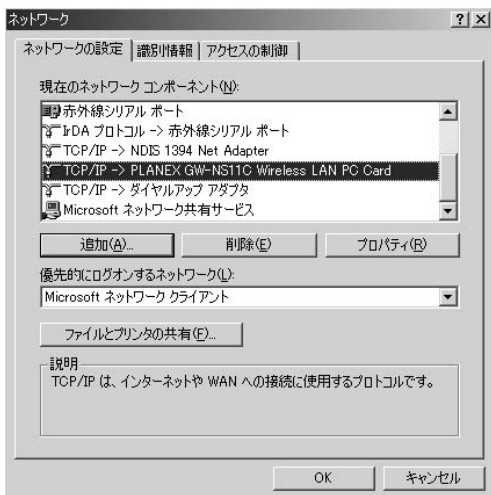
4. 「ネットワークプロトコルの選択」の画面が表示されますので「製造元」に「Microsoft」を選択し「ネットワークプロトコル」に「TCP/IP」を選択し「OK」のボタンをクリックします。



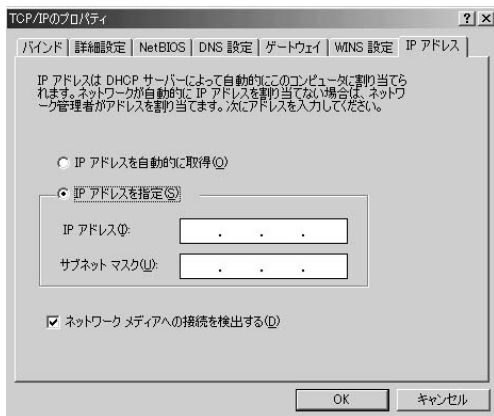
5. 「現在のネットワークコンポーネント」の画面に「TCP/IP」が追加されます。「Microsoftネットワーククライアント」がインストールされていない場合は同様の手順で「クライアント」から必要なファイルをインストールしてください。

●TCP/IPの設定

1. TCP/IPプロトコルでネットワークを構築するためには、コンピュータ（ネットワークアダプタ）ごとに固有のIPアドレスを設定する必要があります。「現在のネットワークコンポーネント」から「TCP/IP->PLANEX GW-NS11C Wireless LAN PC Card」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックします。



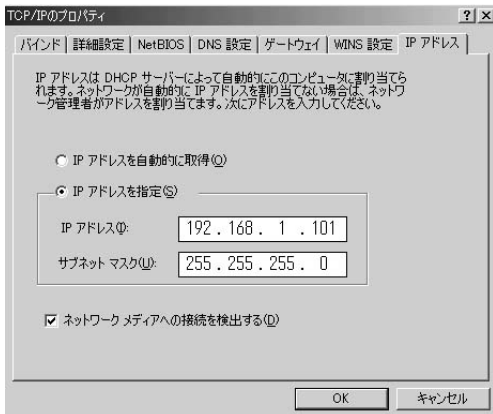
2. 「TCP/IPのプロパティ」の画面が表示されます。初期設定では「IPアドレスを自動的に取得」にチェックがされています。「IPアドレス」を固定設定する場合は「IPアドレスを指定」にチェックをします。IPアドレス、サブネットマスクが入力できるようになります。



⚠ 注意

すでにブロードバンドルーターやDHCPサーバーなどによるIPアドレスの自動割当を行っているネットワークでは「IPアドレスを自動的に取得する」のままにしてください。

3. ローカルネットワークで使用する場合、IPアドレスには任意の番号を使うことができますが、ここではローカルネットワーク用のIPアドレス（Class C）として定義されている「192.168」で始まるアドレスを使用します。この例ではIPアドレスを「192.168.1.101」にサブネットマスクを「255.255.255.0」に設定しています。



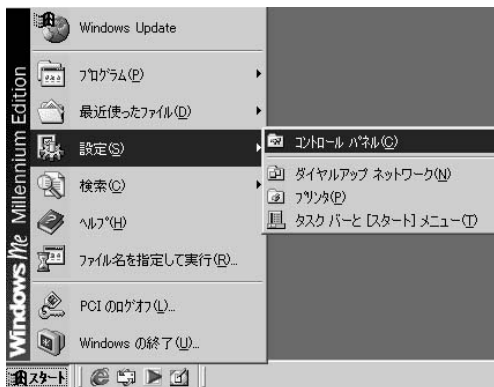
4. IPアドレスの設定が終わったら「OK」ボタンをクリックします。「ネットワーク」の画面の「OK」ボタンをクリックし画面を閉じます。再起動の要求メッセージが出ますので「はい」のボタンをクリックして再起動します

注意

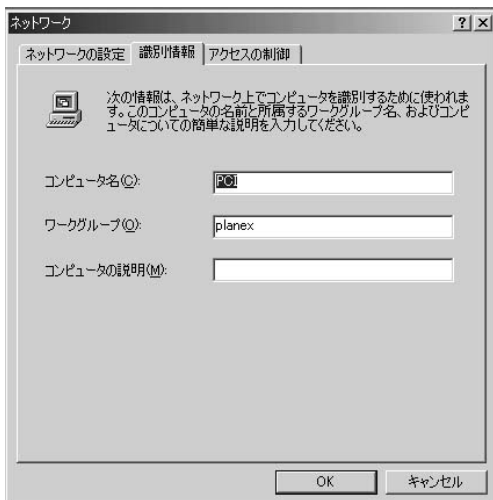
IPアドレスは必ず固有のアドレスを設定する必要があります。例えば複数のパソコンをネットワークで接続した場合はそれぞれのパソコン毎に異なるアドレスを設定します。1台目のIPアドレスが「192.168.1.101」だとすると2台目を「192.168.1.102」、3台目を「192.168.1.103」、4台目を「192.168.1.104」の様に設定してください。

●ネットワークグループの設定

1. 「スタート」をクリックしスタートメニューから「設定」→「コントロールパネル」を選択します。



2. 「コントロールパネル」の画面が表示されますので「ネットワーク」をダブルクリックし「ネットワーク」の画面が表示されましたら「識別情報」のタブをクリックします。以下の各項目を入力します。



＜コンピュータ名＞

使用してるコンピュータに設定する名前を入力してください。ここで入力した名前が「ネットワークコンピュータ」上に表示されます。他のコンピュータと重複しないように設定してください。

＜ワークグループ＞

使用しているコンピュータが属するネットワークグループ名を入力します。ワークグループ名の設定が他のコンピュータと違うと所属するネットワークグループが違うために「ネットワークコンピュータ」を開いた際に他のコンピュータを表示することができなくなります。ネットワーク上の全てのコンピュータで同じワークグループ名を設定してください。

＜コンピュータの説明＞

コンピュータの説明を入力します。
特に必要がない場合には入力しなくても構いません。

3. 「ネットワークの設定」のタブを選択します。「優先的にログオンするネットワーク」をクリックし「Microsoftネットワーククライアント」を選択します。「Microsoftネットワーククライアント」を選択できない場合は「現在のネットワーク構成」に「Microsoftネットワーククライアント」を追加してください。



4. 入力が終了したら「OK」のボタンをクリックします。再起動の要求メッセージが出ますので「OK」のボタンをクリックして再起動します。WindowsのインストールCD-ROMを要求するウィンドウが表示される場合はWindowsインストールCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。再起動後パスワードを入力してデスクトップ上のネットワークコンピュータのアイコンをダブルクリックするとネットワークが参照できるようになります。

4 アダプタの取り外し

ネットワークコンピュータ上のディレクトリが開いてる場合は全て閉じます。また、ネットワークにアクセスしてる場合はアクセスが終了するまで待ちます。

1. 画面右下のタスクトレイに表示されてるPCカードアイコンをダブルクリックします。



2. 「ハードウェアの取り外し」の画面が表示されますので「PLANEX GW-NS11C Wireless LAN PC Crad」を選択し「停止」をクリックします。



3. 「ハードウェアデバイスの停止」の画面が表示されますので「OK」をクリックします。



4. 「PLANEX GW-NS11C Wireless LAN PC Cardは安全に取り外せます。」というメッセージが表示されます「OK」のボタンをクリックします。



5. 本製品をコンピューターのPCカードスロットから取り外します。

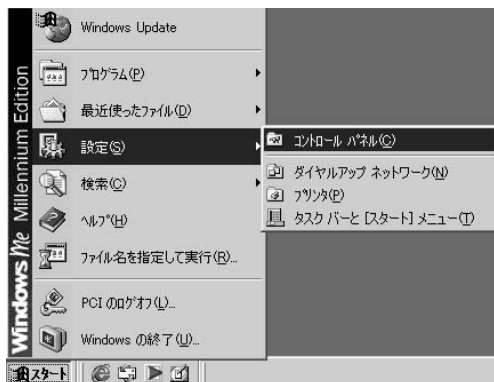
⚠ 注意

上記以外の手順で取り外しを行うとネットワークエラーが発生する可能性があります。必ず上記の手順を守って取り外しを行ってください。

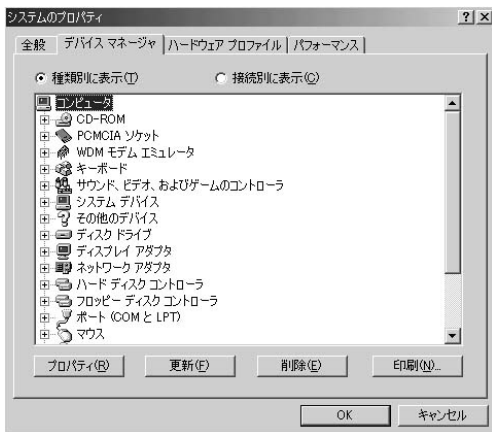
5 ドライバの削除方法

ドライバの削除は以下の手順で行ってください。

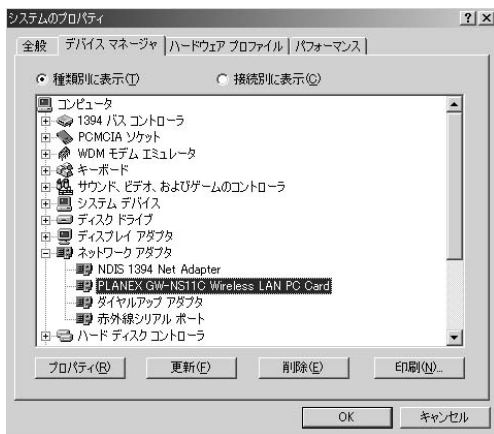
1. 「スタート」をクリックしスタートメニューから「設定」→「コントロールパネル」を選択します。



2. 「コントロールパネル」の画面が表示されますので「システム」をダブルクリックします。
- 「システムのプロパティ」の画面が表示されますので「デバイスマネージャ」のタブをクリックします。



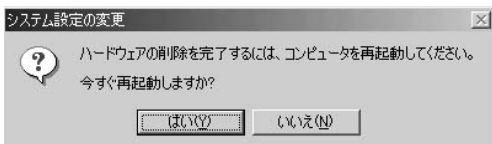
3. 「ネットワークアダプタ」の左の「+」マークをクリックすると「PLANEX GW-NS11C Wireless PC Card」が表示されますのでこれを選択し「削除」のボタンをクリックします。表示されない場合はドライバが正常にインストールされていない可能性があります。もし「その他のデバイス」が存在しその左の「+」マークをクリックしたときに「PLANEX GW-NS11C Wireless PC Card」が表示される場合はこれを選択して「削除」のボタンをクリックしてください。



4. 「デバイス削除の確認」の画面が表示されますので「OK」のボタンをクリックします。



5. 「システム設定の変更」の画面が表示され再起動の要求メッセージが出ますが「いいえ」のボタンをクリックします。コンピュータの電源を切り本製品をコンピュータから取り外してください。



Windows 2000への ドライバインストール

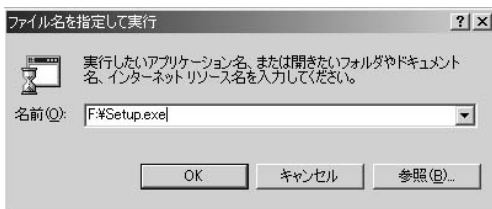
こ こでは本製品をWindows 2000で使用する場合のドライバのインストール方法について説明します

1 ドライバのインストール

1. 本製品に付属のドライバCD-ROMをコンピューターのCD-ROMに挿入します。
2. 「スタート」から「ファイル名を指定して実行」を選択します。



3. 「ファイル名を指定して実行」の画面が表示されます。「名前」欄に「F:\setup.exe」（CD-ROMドライブがFドライブの場合）を入力して「OK」ボタンをクリックします。



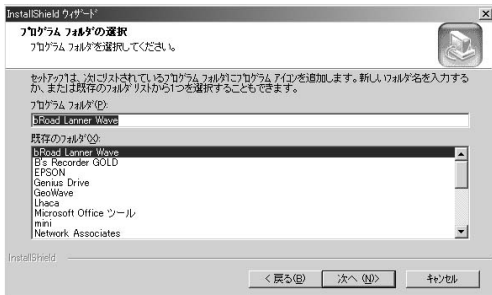
4. ドライバ及びユーティリティのインストーラーが起動します。「次へ」をクリックします。



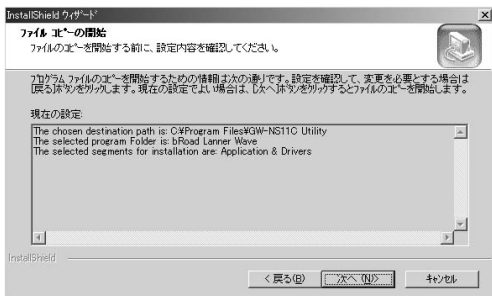
5. インストール先のパスを指定するウィンドウが表示されます。インストール先のパスを変更する場合は「参照」をクリックします。続行する場合は「次へ」をクリックします。



6. プログラムメニューに追加するフォルダ名を指定するウィンドウが表示されます。変更するときは、新しいフォルダ名を入力してください。続行する場合は、「次へ」ボタンをクリックしてください。



7. インストールの設定を確認するウィンドウが表示されます。設定内容を確認して「次へ」をクリックします。ユーティリティのインストールがはじまります。



8. 「Install Shieldウィザードの完了」の画面が表示されます。
「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択してから [完了] ボタンをクリックします。



9. コンピュータを再起動後、本製品をコンピュータのPCカードスロットにセットします。

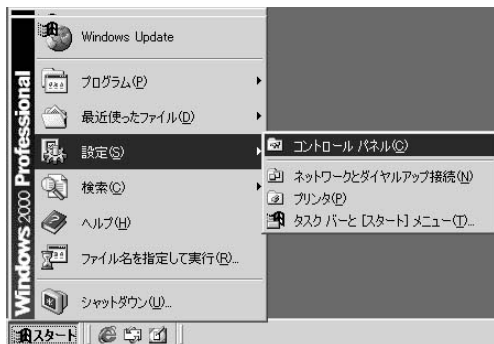
- 10.** 本製品が自動的に認識されドライバのインストールが始まります。「デジタル署名が見つかりませんでした」の画面が表示されますので「はい」をクリックします。



2 インストールの確認

ドライバのインストールが終了したら下記の手順でインストールが正常に終了したかを確認します。

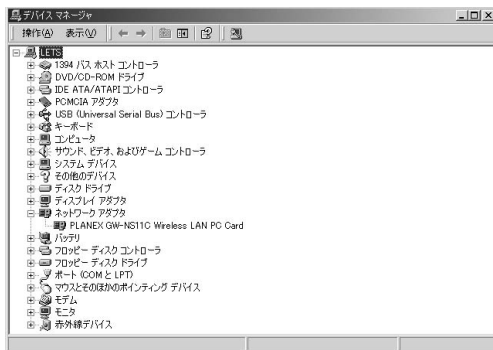
1. 「スタート」をクリックし、スタートメニューから「設定」→「コントロールパネル」を選択します。



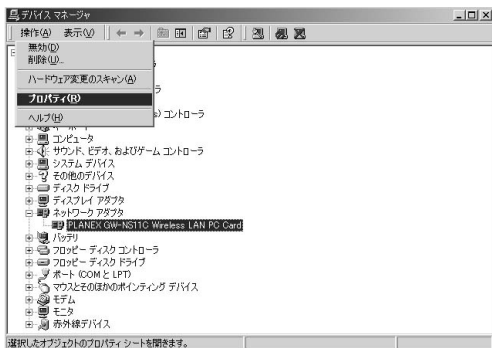
2. 「コントロールパネル」の画面が表示されますので「システム」をダブルクリックします。
「システムのプロパティ」の画面が表示されますので「ハードウェア」のタブをクリックし「デバイスマネージャー」をクリックします。



3. 「デバイスマネージャー」の画面が表示されますので「ネットワークアダプター」の左の「+」をクリックし「PLANEX GW-NS11C Wireless LAN PC Card」が表示されてるか確認します。ネットワークアダプタの下に「PLANEX GW-NS11C Wireless LAN PC Card」が表示されない、またはアイコンに「!」や「?」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。ドライバを一旦削除してから [ドライバのインストール] の手順で再度インストールします。



4. 「PLANEX GW-NS11C Wireless LAN PC Card」を選択し「操作」から「プロパティ」を選択します。



5. 「PLANEX GW-NS11C Wireless LAN PC Cardのプロパティ」の画面が表示されますので「デバイスの状態」に「このデバイスは正常に動作してます」というメッセージが表示されていればドライバのインストールは成功です。



6. 次に「リソース」のタブをクリックします。アダプタが使用しているリソース（IRQ、I/Oポート）を確認することができます。



3 ネットワーク設定

ここでは、TCP/IPそれぞれのプロトコルを使用してネットワークに接続する場合の設定について説明します。本製品のシステムのインストールが完了している事を確認してください。

●ネットワーク設定の確認

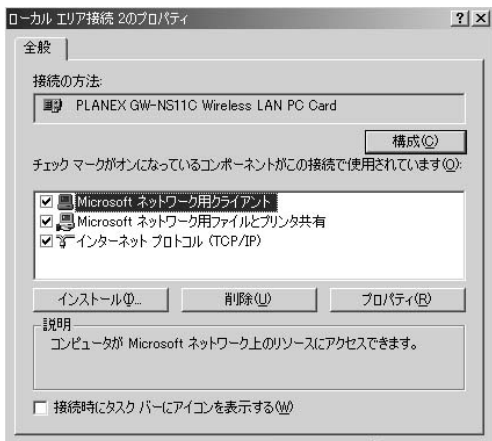
1. 「スタート」をクリックしスタートメニューから「設定」→「コントロールパネル」を選択します。
2. 「コントロールパネル」の画面が表示されますので「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックします。



3. 「ネットワークとダイヤルアップ接続」の画面が表示されますので、「ローカルエリア接続」を選択し「ファイル」から「プロパティ」を選択します。

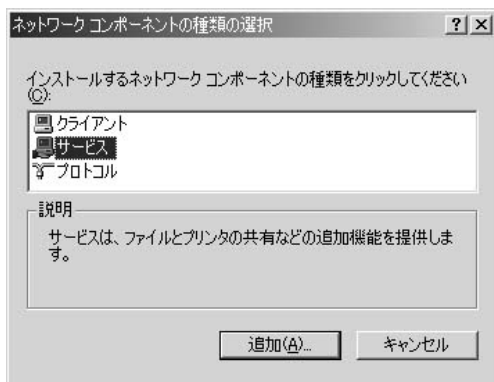


4. 「ローカルエリア接続のプロパティ」の画面が表示されます。各コンポーネントのチェックマークが入っているものが現在有効になっています。コンポーネントの中に「Microsoft ネットワーク用クライアント」、「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が入っていない場合は以下の手順で各コンポーネントを追加してください。
- すでに「Microsoft ネットワーク用クライアント」、「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が入っている場合は、[TCP/IPの設定] へ進んでください。

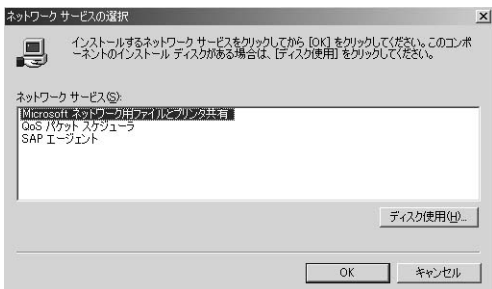


●コンポーネントのインストール

1. 「ローカルエリア接続のプロパティ」の画面から「インストール」のボタンをクリックします。「ネットワークコンポーネントの種類を選択」の画面が表示されますので「サービス」を選択し「追加」ボタンをクリックします。



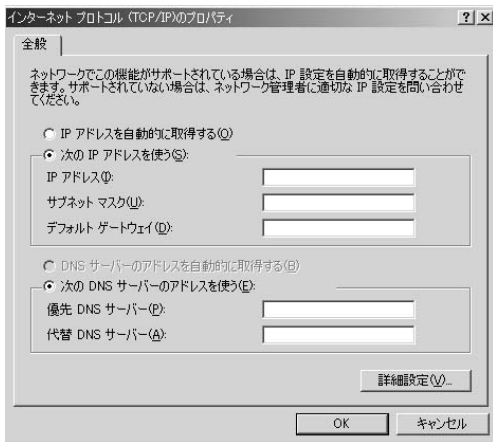
2. 「ネットワークサービスの選択」の画面が表示されますので「ネットワークサービス」に表示される一覧から「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」を選択し「OK」ボタンをクリックします。



3. ローカルエリア接続のプロパティに「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が追加されます。「Microsoft ネットワーク用クライアント」、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」がインストールされていない場合は、同様の手順で「クライアント」と「プロトコル」から必要なファイルをインストールしてください。インストール後、各コンポーネントにチェックマークが入っていることを確認します。

●TCP/IPの設定

1. TCP/IPプロトコルでネットワークを構築するためには、コンピュータ（ネットワークアダプタ）ごとに固有のIPアドレスを設定する必要があります。「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックします。
2. 「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」の画面が表示されます。初期設定では「IPアドレスを自動的に取得する」にチェックがされています。「IPアドレス」を固定設定する場合は「次のIPアドレスを使う」にチェックをします。IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが入力できるようになります。



⚠ 注意

すでにブロードバンドルータやDHCPサーバーなどによるIPアドレスの自動割当を行っているネットワークでは「IPアドレスを自動的に取得する」のままにしてください。

3. ローカルネットワークで使用する場合、IPアドレスには任意の番号を使うことができますが、ここではローカルネットワーク用のIPアドレス（Class C）として定義されている「192.168」で始まるアドレスを使用します。この例ではIPアドレスを「192.168.1.101」にサブネットマスクを「255.255.255.0」に設定しています。



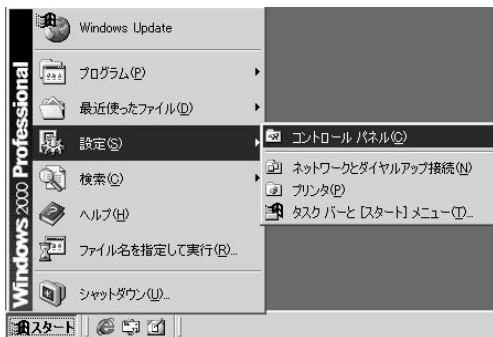
4. IPアドレスの設定が終わったら「OK」ボタンをクリックします。「ローカルエリア接続のプロパティ」の「OK」ボタンをクリックし画面を閉じます。再起動を要求される場合がありますので、その場合は再起動してください。

注意

IPアドレスは必ず固有のアドレスを設定する必要があります。例えば複数のパソコンをネットワークで接続した場合はそれぞれのパソコン毎に異なるアドレスを設定します。1台目のIPアドレスが「192.168.1.101」だとすると2台目を「192.168.1.102」、3台目を「192.168.1.103」、4台目を「192.168.1.104」の様に設定してください。

●ネットワークグループの設定

1. 「スタート」をクリックしスタートメニューから「設定」→「コントロールパネル」を選択します。



2. 「コントロールパネル」の画面が表示されますので「システム」をダブルクリックします。「システムのプロパティ」の画面が表示されましたら「ネットワークID」のタブをクリックし、「プロパティ」のボタンをクリックします。



3. 「識別の変更」の画面が表示されますので、以下の各項目を入力します。



<コンピュータ名>

使用してるコンピュータに設定する名前を入力してください。ここで入力した名前が「ネットワークコンピュータ」上に表示されます。他のコンピュータと重複しないように設定してください。

<ドメイン>

使用しているコンピュータが属するNTドメイン名を入力します。NTドメインの参加にはドメインの管理者権限が必要になります。ドメインへ参加する場合はネットワーク管理者に相談してください。

<ワークグループ>

使用しているコンピュータが属するネットワークグループ名を入力します。ワークグループ名の設定が他のコンピュータと違うと所属するネットワークグループが違うために「ネットワークコンピュータ」を開いた際に他のコンピュータを表示することができなくなります。ネットワーク上の全てのコンピュータで同じワークグループ名を設定してください。

4. 入力終了したら「OK」のボタンをクリックします。再起動の要求メッセージが出ますので「OK」のボタンをクリックして再起動します。再起動後パスワードを入力してデスクトップ上のネットワークコンピュータのアイコンをダブルクリックするとネットワークが参照できるようになります。

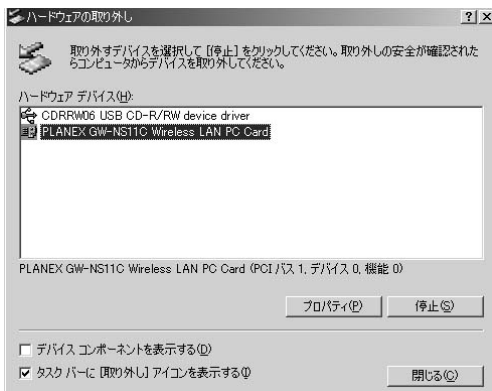
4 アダプタの取り外し

ネットワークコンピュータ上のディレクトリが開いてる場合は全て閉じます。また、ネットワークにアクセスしてる場合はアクセスが終了するまで待ちます。

1. 画面右下のタスクトレイに表示されてるPCカードアイコンをダブルクリックします。



2. 「ハードウェアの取り外し」の画面が表示されますので「PLANEX GW-NS11C Wireless LAN PC Card」を選択し「停止」をクリックします。



3. 「ハードウェアデバイスの停止」の画面が表示されますので「OK」をクリックします。



4. 「PLANEX GW-NS11C Wireless LAN PC Crad」は安全に取り外すことができます。」というメッセージが表示されますので「OK」のボタンをクリックします。



5. 本製品をコンピューターのPCカードスロットから取り外します。

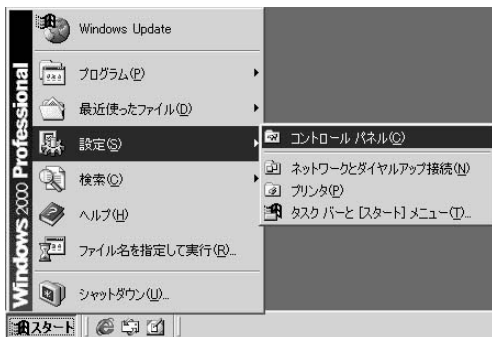
⚠ 注意

上記以外の手順で取り外しを行うとネットワークエラーが発生する可能性があります。必ず上記の手順を守って取り外しを行ってください。

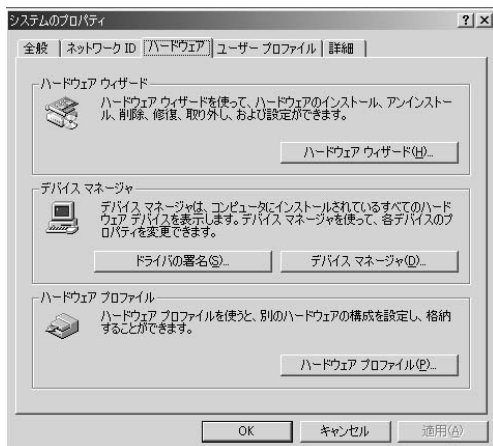
5 ドライバの削除方法

ドライバの削除は以下の手順で行ってください。

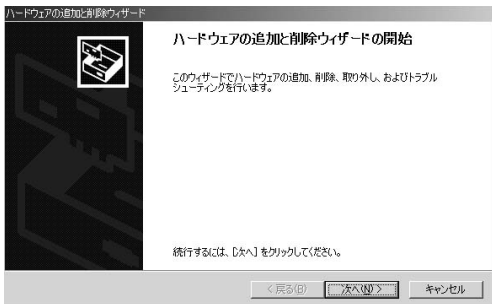
1. 「スタート」をクリックしスタートメニューから「設定」→「コントロールパネル」を選択します



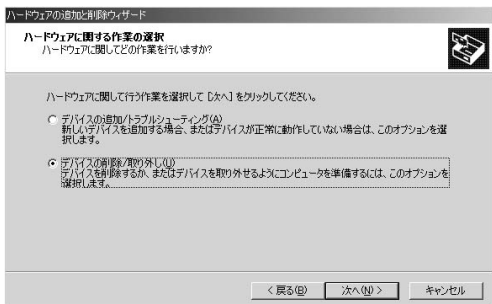
2. 「コントロールパネル」の画面が表示されますので「システム」をダブルクリックします。「システムのプロパティ」の画面が表示されますので「ハードウェア」のタブを選択し「ハードウェアウィザード」のボタンをクリックします。



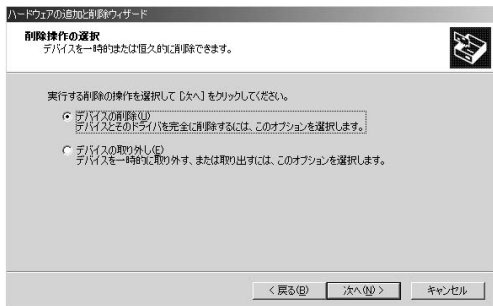
3. 「ハードウェアの追加と削除ウィザード」の画面が表示されますので「次へ」のボタンをクリックします。



4. 「ハードウェアに関する作業の選択」の画面が表示されますので「デバイスの削除/取り外し」にチェックマークを付け「次へ」をクリックします。



5. 「削除操作の選択」の画面が表示されますので「デバイスの削除」にチェックマークを付け「次へ」をクリックします。



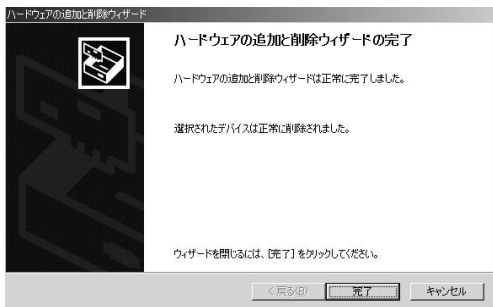
6. 「削除するデバイスを選択してください。」と表示されますので「PLANEX GW-NS11C Wireless LAN PC Card」を選択して「次へ」をクリックします。



7. 「デバイスの削除」の画面が表示されますので「はい、このデバイスを削除します」にチェックを入れ「次へ」のボタンをクリックします。



8. 「選択されたデバイスは正常に削除されました」と画面に表示されますので「完了」のボタンをクリックし「ハードウェアの追加と削除ウィザードの完了」を終了します。



9. コンピュータの電源を切り、本製品をコンピューターから取り外します。

Windows XPへの ドライバインストール

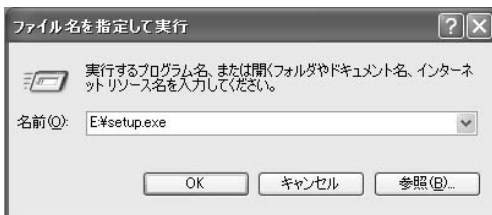
こ こでは本製品をWindowsXPで使用する場合のドライバのインストール方法について説明します。

1 ドライバのインストール

1. 本製品に付属のドライバCD-ROMをコンピューターのCD-ROMに挿入します。
2. 「スタート」から「ファイル名を指定して実行」を選択します。



3. 「ファイル名を指定して実行」の画面が表示されます。「名前」欄に「E:\setup.exe」（CD-ROMドライブがEドライブの場合）を入力して「OK」ボタンをクリックします。



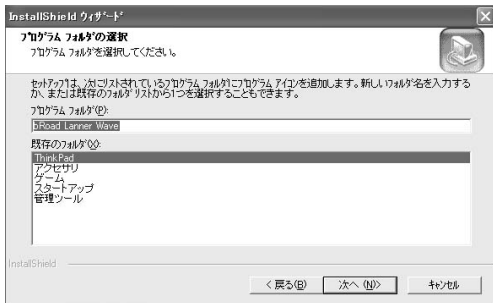
4. ドライバ及びユーティリティのインストーラーが起動します。「次へ」をクリックします。



5. インストール先のパスを指定するウィンドウが表示されます。インストール先のパスを変更する場合は「参照」をクリックします。続行する場合は「次へ」をクリックします。



6. プログラムメニューに追加するフォルダ名を指定するウィンドウが表示されます。変更するときは、新しいフォルダ名を入力してください。続行する場合は、「次へ」ボタンをクリックしてください。



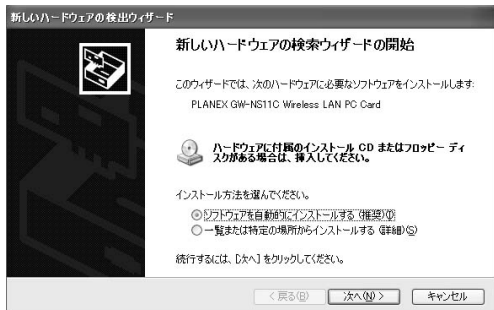
7. インストールの設定を確認するウィンドウが表示されます。設定内容を確認して「次へ」をクリックします。ユーティリティのインストールがはじまります。



8. 「Install Shieldウィザードの完了」の画面が表示されます。「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択してから [完了] ボタンをクリックします。



9. コンピュータを再起動後、本製品をコンピュータのPCカードスロットにセットします。
10. WindowsXP起動時に本製品が自動的に認識され「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」の画面が表示されます。「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」にチェックを付け「次へ」をクリックします。



- 11.** ドライバが自動的に検出され、インストールがはじまります。途中で「ロゴテストに合格していません」というメッセージが表示されますが「続行」をクリックします。



⚠ 注意

このメッセージはMicrosoftによるハードウェア互換試験（WHQL）を取得していない場合に表示されます。ドライバをインストールしてもシステムに問題を発生させることはありませんので、インストールを続行してください。

- 12.** ドライバのインストールが終了すると「新しいハードウェアの検索ウィザードの終了」が表示されますので「完了」をクリックします。



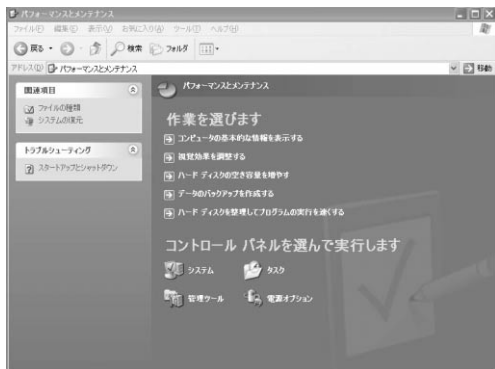
2 インストールの確認

ドライバのインストールが終了したら下記の手順でインストールが正常に終了したかを確認します。

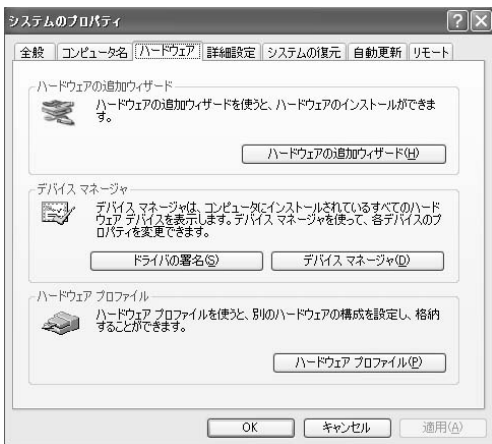
1. 「スタート」をクリックし、スタートメニューから「コントロールパネル」を選択します。



2. 「コントロールパネル」の画面が表示されますので「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。「パフォーマンスとメンテナンス」の画面が表示されましたら「システム」をクリックします。



3. 「システムのプロパティ」の画面が表示されますので「ハードウェア」のタブをクリックし「デバイスマネージャ」をクリックします。



4. 「デバイスマネージャ」の画面が表示されますので「ネットワークアダプタ」の左の「+」をクリックし「PLANEX GW-NS11C Wireless LAN PC Card」が表示されてるか確認します。ネットワークアダプタの下に「PLANEX GW-NS11C LAN Wireless PC Card」が表示されない、またはアイコンに「!」や「?」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。ドライバを一旦削除してから「ドライバのインストール」の手順で再度インストールします。



5. 「PLANEX GW-NS11C Wireless LAN PC Card」を選択し「操作」から「プロパティ」を選択します。



6. 「PLANEX GW-NS11C Wireless LAN PC Cardのプロパティ」の画面が表示されますので「デバイスの状態」に「このデバイスは正常に動作してます」というメッセージが表示されていればドライバのインストールは成功です。



7. 次に「リソース」のタブをクリックします。アダプタが使用しているリソース（IRQ、I/Oポート）を確認することができます。



3 ネットワーク設定

ここでは、TCP/IPそれぞれのプロトコルを使用してネットワークに接続する場合の設定について説明します。本製品のシステムのインストールが完了している事を確認してください。

●ネットワーク設定の確認

1. 「スタート」をクリックしスタートメニューから「接続」→「すべての接続の表示」を選択します。



6

Windows XPへのドライバインストール

2. 「ネットワーク接続」の画面が表示されますので「PLANEX GW-NS11C Wireless LAN PC Card」を選択し「ファイル」から「プロパティ」を選択します。

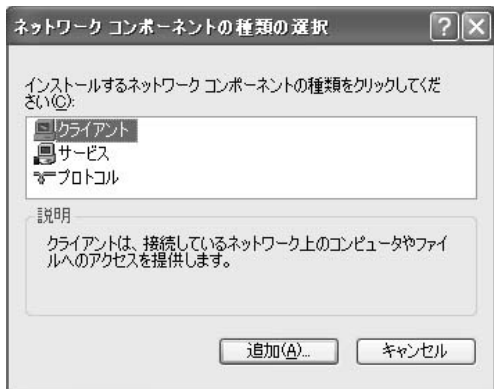


3. 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」の画面が表示されます。各コンポーネントのチェックマークが入っているものが現在有効になっています。コンポーネントの中に「Microsoft ネットワーク用クライアント」、「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が入っていない場合は以下の手順で各コンポーネントを追加してください。
- すでに「Microsoft ネットワーク用クライアント」、「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が入っている場合は、[TCP/IPの設定] へ進んでください。

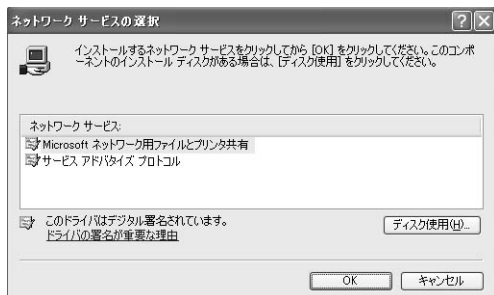


●コンポーネントのインストール

1. 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」の画面から「インストール」のボタンをクリックします。「ネットワークコンポーネントの種類の選択」の画面が表示されますので「サービス」を選択し「追加」ボタンをクリックします。



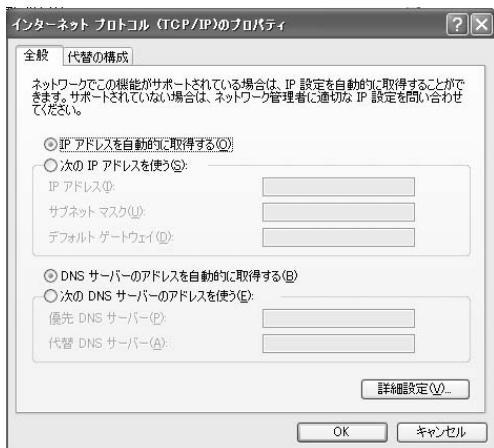
2. 「ネットワークサービスの選択」の画面が表示されますので「ネットワークサービス」に表示される一覧から「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」を選択し「OK」ボタンをクリックします。



3. ワイヤレスネットワーク接続のプロパティに「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が追加されます。「Microsoft ネットワーク用クライアント」、「インターネット プロトコル (TCP/IP)」がインストールされていない場合は、同様の手順で「クライアント」と「プロトコル」から必要なファイルをインストールしてください。インストール後、各コンポーネントにチェックマークが入っていることを確認します。

●TCP/IPの設定

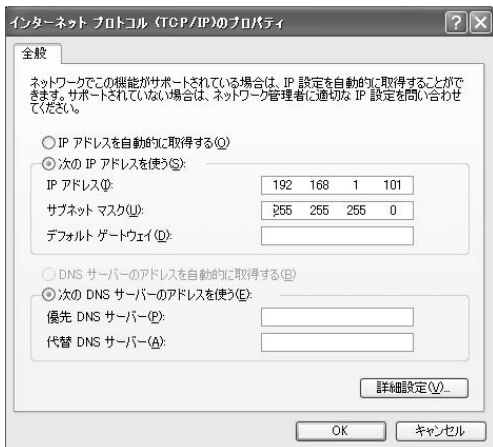
1. TCP/IPプロトコルでネットワークを構築するためには、コンピュータ（ネットワークアダプタ）ごとに固有のIPアドレスを設定する必要があります。「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックします。
2. 「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」の画面が表示されます。初期設定では「IPアドレスを自動的に取得する」にチェックがされています。「IPアドレス」を固定設定する場合は「次のIPアドレスを使う」にチェックをします。IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが入力できるようになります。



⚠ 注意

すでにブロードバンドルータやDHCPサーバーなどによるIPアドレスの自動割当を行っているネットワークでは「IPアドレスを自動的に取得する」のままにしてください。

3. ローカルネットワークで使用する場合は、IPアドレスには任意の番号を使うことができますが、ここではローカルネットワーク用のIPアドレス（Class C）として定義されている「192.168」で始まるアドレスを使用します。この例ではIPアドレスを「192.168.1.101」にサブネットマスクを「255.255.255.0」に設定しています。



4. IPアドレスの設定が終わったら「OK」ボタンをクリックします。「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」の「OK」ボタンをクリックし画面を閉じます。

⚠ 注意

IPアドレスは必ず固有のアドレスを設定する必要があります。例えば複数のパソコンをネットワークで接続した場合はそれぞれのパソコン毎に異なるアドレスを設定します。1台目のIPアドレスが「192.168.1.101」だとすると2台目を「192.168.1.102」、3台目を「192.168.1.103」、4台目を「192.168.1.104」の様に設定してください。

●ネットワークグループの設定

1. 「スタート」をクリックしスタートメニューから「コントロールパネル」を選択します



2. 「コントロールパネル」の画面が表示されますので「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。「パフォーマンスとメンテナンス」の画面が表示されましたら「システム」をクリックします。
3. 「システムのプロパティ」の画面が表示されますので「コンピュータ名」のタブをクリックします。



4. 「変更」のボタンをクリックします。「コンピュータ名の変更」の画面が表示されますので、以下の各項目を入力します。

コンピュータ名の変更

このコンピュータの名前とメンバーシップを変更できます。変更するとネットワークリソースへのアクセスに影響する可能性があります。

コンピュータ名(C):
PC1

フル コンピュータ名:
PC1.

詳細(M)...

次のメンバーシップ

☐ ドメイン(D):

☒ ワークグループ(W):
WORKGROUP

OK キャンセル

<コンピュータ名>

使用してるコンピュータに設定する名前を入力してください。ここで入力した名前が「ネットワークコンピュータ」上に表示されます。他のコンピュータと重複しないように設定してください。

<ドメイン>

使用しているコンピュータが属するNTドメイン名を入力します。NTドメインの参加にはドメインの管理者権限が必要になります。ドメインへ参加する場合はネットワーク管理者に相談してください。

<ワークグループ>

使用しているコンピュータが属するネットワークグループ名を入力します。ワークグループ名の設定が他のコンピュータと違うと所属するネットワークグループが違うために「ネットワークコンピュータ」を開いた際に他のコンピュータを表示することができなくなります。ネットワーク上の全てのコンピュータで同じワークグループ名を設定してください。

5. 入力が終わったら「OK」のボタンをクリックします。再起動の要求メッセージが出ますので「OK」のボタンをクリックして再起動します。再起動後パスワードを入力してデスクトップ上のネットワークコンピュータのアイコンをダブルクリックするとネットワークが参照できるようになります。

4 アダプタの取り外し

本製品はゼロコンフィグレーションに対応していますので、無通信状態であればWindowsXP上では自由に着脱可能です。アダプタを取り外す時はデータの通信が無い事を確認してから取り外してください。

注意

上記以外の手順で取り外しを行うとネットワークエラーが発生する可能性があります。必ず上記の手順を守って取り外しを行ってください。

6

※ゼロコンフィグレーションとは

WindowsXPに追加された機能のひとつで無線ネットワークの設定をすることなく簡単に無線ネットワークから他のネットワークへのシームレスなローミングを可能にするものです。例えば、購入した無線LANカードを挿入してESSIDなどの煩わしい設定をすることなく即、既存のネットワークに簡単に接続することが出来るという機能です。

5 ドライバの削除方法

ドライバの削除は以下の手順で行ってください。

1. 「スタート」をクリックしスタートメニューから「マイコンピュータ」を選択し右クリックから表示されるメニューの「プロパティ」を選択します。



2. 「システムのプロパティ」の画面が表示されますので「ハードウェア」のタブをクリックし「デバイスマネージャー」をクリックします。

3. 「デバイスマネージャ」の画面が表示されますので「ネットワークアダプタ」の左の「+」をクリックすると「PLANEX GW-NS11C Wireless LAN PC Card」が表示されますので選択し。「操作」から「削除」をクリックします。



ネットワークアダプタの下に「PLANEX GW-NS11C Wireless LAN PC Card」が表示されない場合はドライバが正常にインストールされていない可能性があります。もし、「その他のデバイス」が存在しその左の「+」をクリックしたときに「PLANEX GW-NS11C Wireless LAN PC Card」が表示される場合はこれを選択し「削除」のボタンをクリックします。

4. 削除の確認のウィンドウが表示されますので「OK」のボタンをクリックします。
5. コンピュータの電源を切り本製品をコンピュータから取り外してください。

設定ユーティリティのインストールと設定

G

GW-NS11Cのドライバ&ユーティリティCD-ROMにはアダプタの診断および設定ユーティリティが含まれています。このユーティリティには以下の機能を提供します。

- GW-NS11Cの電波状態/通信状態を表示します。
- GW-NS11Cの現在の構成を表示します。
- GW-NS11Cのワイヤレスネットワーク設定を行います。

1 設定ユーティリティのインストール

注意

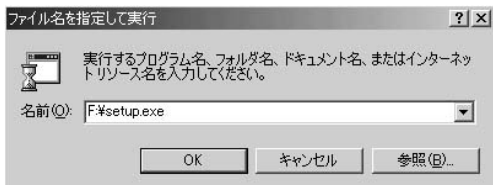
既にドライバをインストール済みの場合はユーティリティもインストールされています。2の設定ユーティリティにお進みください。

1. 本製品に付属のドライバ&ユーティリティCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。

7

設定ユーティリティのインストールと設定

2. 「スタート」をクリックしスタートメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。「名前」の欄に「F:\setup.exe」（CD-ROMドライブがFドライブの場合）と入力し「OK」のボタンをクリックします。



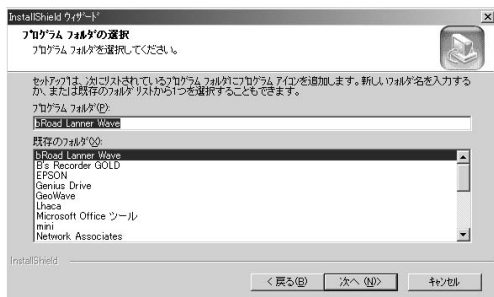
3. ユーティリティのインストーラが起動します。「次へ」をクリックします。



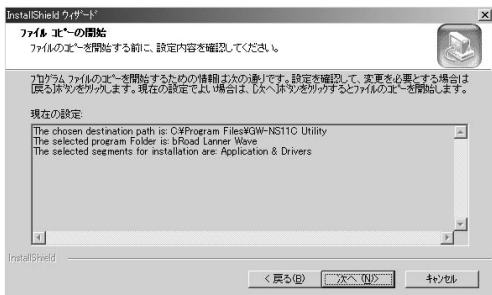
4. インストール先のパスを指定するウィンドウが表示されます。インストール先のパスを変更する場合は「参照」をクリックします。続行する場合は「次へ」をクリックします。



5. プログラムメニューに追加するフォルダ名を指定するウィンドウが表示されます。変更するときは、新しいフォルダ名を入力してください。続行する場合は、「次へ」ボタンをクリックしてください。



6. インストールの設定を確認するウィンドウが表示されます。設定内容を確認して「次へ」をクリックします。ユーティリティのインストールがはじまります。

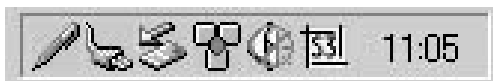


7. 「Install Shieldウィザードの完了」の画面が表示されます。「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択してから[完了] ボタンをクリックします。コンピュータの再起動後ユーティリティが使用できます。後でコンピュータを再起動する場合は「いいえ、後でコンピュータを再起動します。」選択して「完了」ボタンをクリックします。「いいえ、後でコンピュータを再起動します。」を選択したときも、後で必ずコンピュータの再起動をしてください。



2 設定ユーティリティを使用する

本製品をコンピュータにセットしドライバが正常にインストールされているとタスクトレイに自動的にユーティリティが常駐します。



アイコンの色によって接続状態と電波状態を表します。

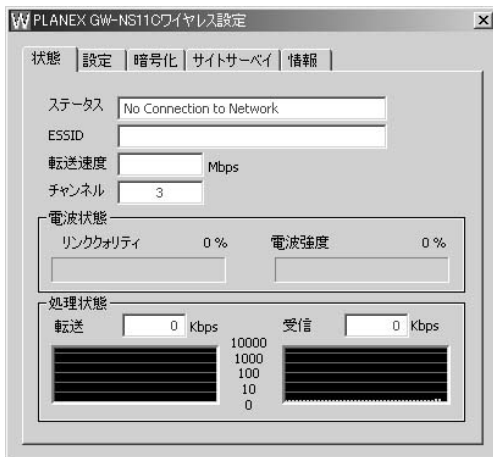
- ・アイコンが緑色：接続できており電波が強い状態を示します。
- ・アイコンが赤色：接続できていない状態を示します。

アイコンをダブルクリックするとユーティリティが起動します。

1. 状態
「状態」のボタンをクリックすると本製品の接続状態を表示します。
2. 設定
「設定」のボタンをクリックすると本製品の通信設定を行う画面が表示されます。
3. 暗号化
「暗号化」のボタンをクリックすると本製品の暗号化を行う画面が表示されます。
4. サイトサーベイ
「サイトサーベイ」のボタンをクリックするとAP検索を行う画面が表示されます。
5. 情報
「情報」のボタンをクリックすると本製品の情報を表示します。

■状態

本製品の接続状態を表示します。



<ステータス>

接続先のアクセスポイントのMACアドレスが表示されます。

<ESSID>

現在接続しているESS ID（Extended Service Set ID）が表示されます。

<転送速度>

現在の転送速度が表示されます。

<チャンネル>

現在のチャンネルが表示されます。

＜電波状態＞

現在の電波状態が表示されます。

- ・リンククォリティ：使用している電波の品質を表示します。
- ・電波強度：使用している電波の強さを表示します。

＜処理状態＞

現在の送信、受信のデーター状態を表示します。

■設定

「設定」のボタンをクリックすると本製品の設定を行う画面が表示されます。



<ESSID>

ESS ID は無線LAN のアクセス制御用の識別名です。通常は無線LAN 製品では同一のESS ID を設定した機器同士でしか接続できません。その為、ESS ID は無線ネットワークのグループ分けに使用できます。ただし、ESS IDがANY に設定されたクライアントはすべてのESS ID の機器と接続できます。

<ネットワークタイプ>

ワイヤレスLAN ネットワークには、アクセスポイント使用してそれぞれの端末が通信をおこなうinfrastructure モードとアクセスポイントを使用せずにそれぞれの端末同士が通信をおこなうAd-Hocモードがあります。

<チャンネル>

本製品が使用するチャンネルを1～14チャンネルの間で選択します。同一エリア内でアクセスポイントが2台以上ある場合は必ず使用するチャンネルの間隔4つ以上離れていることを確認してください。

<転送速度>

本製品の通信速度を選択することが可能です。

Auto/11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbpsのいずれかを選択します。ワイヤレスLAN では、転送速度が遅いほど伝送距離が伸びパケットの損失率は下がります。アクセスポイント、端末までの距離が長いまたは無線に適していない環境の場合は伝送速度を調整する事により最適なパフォーマンスを発揮することが可能になります。

<プリアンプル>

プリアンプルはパケットの同期をとるための信号です。通常はAutoを選択します。

<ワイヤレス>

ワイヤレス機能のon/offを設定します。

■暗号化

無線通信時のWEP（Wired Equivalent Privacy）機能の設定を行います。



WEP機能は、キーワードを暗号化して転送データに暗号化をかける機能です。この機能を有効に設定するとより高いセキュリティを使用したネットワークを実現することが可能です。

<WEP有効>

WEPの有効/無効を切り替えます。WEP機能を使うときはチェックマークをつけます。

<認証モード>

WEPキーの認証タイプを設定します。認証タイプにはオープン/シェアードの2種類があります。Autoを選択した場合にはオープン/シェアードを自動的に判別します。

<キー長>

使用するWEPのキー長を設定します。64bit (40) または 128bitのいずれかから選択します。

<ネットワークキー>

WEPキーを直接文字列で指定するときに使用します。

64 (40) bit : WEPキーを16進数 (1~9、A~F) で 10桁の任意の値を指定します。

128bit : WEPキーを16進数 (1~9、A~F) で 26桁の任意の値を指定します。

<デフォルトキー>

使用するWEP キーを指定します。16 進数入力では最大4つのWEP キーを登録しその中から使用するWEP キーを指定します。

**注意**

WEP キー長の40bit と64bit は同じ暗号化です。40bit/64bit では40bit分の任意の暗号化用の16 進数 (または文字列) をユーザーが設定し、そこに内部的に24bit の暗号化を追加します。その為、ユーザーの設定は40bit で実際に使用されるのは64bit になります。メーカー毎の表記の差がありますが、同じ暗号化になります。また、128bit はユーザー設定は104bit になります。こちらはメーカー毎の表記の差はなく、128bit に統一されています。

■サイトサーベイ

電波エリア内にある無線機器の検索ができ、サイトサーベイから目的の無線機器に接続することができます。



<検索>

このボタンをクリックすると、電波エリア内にある無線機器の検索を行います。検索中は無線による通信が出来なくなります。

- ESSID** : 検出された無線機器のESSIDを表示されます。
- WEP** : 検出された無線機器がWEPを使用しているかが表示されます。ただしWEPキーは分かりません。
- Channel** : 検出された無線機器が使用している無線チャンネルが表示されます。
- Signal** : 検出された無線機器の電波状態を表示されます。
- BSSID** : 検出された無線機器のMAC アドレスが表示されます。
- Type** : 検出された無線機器のネットワークタイプが表示されます。

<接続>

本製品を接続したいアクセスポイントを選択し、「接続」をクリックします。

■情報

本製品のドライバ及びユーティリティのバージョンを確認
できます。



簡単設定



製品は接続したい無線ネットワークを選択するだけで簡単に設定を行えます。

1. タスクトレイにあるユーティリティアイコンをダブルクリックします。



2. 「PLANEX GW-NS11Cワイヤレス設定」の画面が表示されますので「サイトサーベイ」のタブを選択します。



3. 「AP検索」の画面が表示されますので、接続したい無線ネットワークを選択し「接続」をクリックします。「Connect」の画面が表示されます。



The image shows a Windows-style dialog box titled "Connect: PCI". It contains several configuration fields for a wireless network connection. The fields are: Profile Name (text box with "PCI"), ESSID (text box with "PCI"), ネットワークタイプ (dropdown menu with "Access Point"), チャンネル (dropdown menu with "9"), 転送速度 (dropdown menu with "11 Mbps"), and プリアンプル (dropdown menu with "Auto"). Below these is a checkbox for "WEP有効" which is unchecked. Under the "暗号" (Encryption) section, there are dropdowns for "認証モード" (set to "Auto") and "キー長" (set to "64 Bit"). There are also sections for "デフォルトキー" and "ネットワークキー", each with four radio buttons (1, 2, 3, 4) and corresponding text input boxes. At the bottom of the dialog are two buttons: "適用" (Apply) and "キャンセル" (Cancel).

Connect: PCI

Profile Name: PCI

ESSID: PCI

ネットワークタイプ: Access Point

チャンネル: 9

転送速度: 11 Mbps

プリアンプル: Auto

☐ WEP有効

暗号

認証モード: Auto

キー長: 64 Bit

デフォルトキー ネットワークキー

1

2

3

4

適用 キャンセル

4. WEPが無効の場合は「適用」をクリックします。クライアントは選択した無線ネットワークに接続されます。WEPが有効の場合はWEPの設定を行います、5へお進みください。
5. 「暗号」の欄から無線ネットワークが使用しているWEPの設定を行います。

<認証モード>

認証モードはOpen Authentication/Shared Authentication/Autoのいずれかから選択します。

<キー長>

キー長は64bit（40）または128bitのいずれかから選択します。

Connect : PCI

Profile Name: PCI

ESSID: PCI

ネットワークタイプ: Access Point

チャンネル: 9

転送速度: 11 Mbps

ブリアンブル: Auto

☒ WEP有効

暗号

認証モード: Auto

キー長: 64 Bit

デフォルトキー: 64 Bit, 128 Bit

適用 キャンセル

＜ネットワークキー＞

無線ネットワークで使用するWEPの文字列を入力します。
64 (40) bitでは1～9、A～Fの10文字、128bitでは1～9、
A～Fの26文字の16進数を入力します。

＜デフォルトキー＞

入力したネットワークキーから使用するデフォルトキーを選択します。

6. 「適用」をクリックします。クライアントは選択した無線ネットワークに接続されます。

8

簡単設定

トラブルシューティング



ここでは本製品のインストール時に発生する代表的な問題点とその対応方法について説明します。

●アダプタを取り付けてコンピュータを立ち上げたが、アダプタが検出されない。

→本製品はCard Busスロット用アダプタカードです。Card Busスロットが正常にインストールされていない場合は、検出されません。デバイスマネージャの「PCM CIA ソケット」の中にあるデバイスが正常に動作しているか確認してください。「！」マークなどが付いて正常に動作していない場合はご使用のコンピュータのメーカーにお問い合わせください。

→デバイスマネージャの「その他のデバイス」の中に「PLANEX GW - NS11C Wireless PC Card」が入っていないか確認してください。入っている場合は削除してからコンピュータを再起動してください。

●Windows のデバイスマネージャーでアダプタに「！」マークが表示される。

→リソースの競合の可能性があります。デバイスマネージャからアダプタのプロパティを開き、[リソース] タブを開きます。リソースが競合している場合は、競合しているデバイスのリソースを変更してください。また、取り付けられているスロットを変更した場合に競合が解消される場合もありますので、取り付けるスロットを変えてみてください。

→ドライバのインストールが正常に終了していない可能性があります。一旦、デバイスを削除してからコンピュータを再起動して、ドライバをインストールしなおしてください。

- ドライバが正常にインストールされ、LINK LED も点灯しているがネットワークコンピュータを開いてもコンピュータの一覧が表示されない。

→Windows の起動時に正常にログインしているか確認してください。ログインするときにユーザー名とパスワードを正確に入力してください。

→通信しようとしているコンピュータと同じ通信プロトコルを使用しているか、確認してください。ネットワークのプロパティからインストールされているプロトコルを確認してください。

→ネットワークのプロパティを開いて「Microsoft ネットワーククライアント」「Microsoft ネットワーク共有サービス」がインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合は、インストールしてください。

●ドライバが正常にインストールされ、LINK LED も点灯しているがネットワーク経由でインターネットにアクセスできない。

→TCP/IP プロトコルがインストールされているか確認してください。インターネットへのアクセスにはTCP/IP プロトコルが必要です。ネットワークのプロパティを開いて、インストールされていない場合はインストールしてください。

→IP アドレスが正しく設定されているか確認してください。IP アドレスの設定が間違えていると通信できません。

→IP アドレスが自動取得の場合はアドレスが正常に取得できているか、確認してください。スタートメニューからファイル名を指定して実行を選択して、winipcfg と入力して[OK] をクリックしてください。現在のIP が表示されます。ネットワーク管理者に取得しているIP アドレスに問題ないか確認してください。

→DNS（ドメイン・ネーム・サーバー）及びデフォルトゲートウェイの設定に問題がないか確認してください。TCP/IP のプロパティを開いて、設定されている値に問題がないかネットワーク管理者に問い合わせてください。

●アダプターをインストールするとWindows の起動が遅くなる。

→IP アドレスを自動取得する設定になっており、ネットワーク上にDHCP サーバが存在しない場合に発生する事があります。TCP/IP プロトコルでネットワークを構成されていない環境でしたら、ネットワークのプロパティからTCP/IP を削除していただくか、もしくは適当なIP アドレスを設定してください。

●アダプタのインストール後、Windows の起動時に文字化けのようなメッセージが表示されたり、「ファイルが読み込めない」というエラーメッセージが表示される。

→ネットワークコンポーネントが正常にインストールされていない可能性があります。ネットワークのプロパティから「Microsoft ネットワーククライアント」「Microsoft ネットワーク共有サービス」を一旦削除してから、再度インストールしてください。

仕様

B**仕様**

＜準拠する規格＞IEEE802.11/802.11b、ARIB STD - 33A/STD - T66 準拠

＜バス・タイプ＞PC Card Standard CardBus Type II

＜転送速度＞1/2/5.5/11Mbps

＜周波数帯＞2.4 ～2.497GHz

＜チャンネル数＞14ch

＜通信距離＞11Mbps 時35m 5.5/2/1Mbps 時100m
(屋内使用時、見通し距離)

※環境により上記距離を満たせない場合があります。

＜アンテナタイプ＞ダイバシティアンテナ

＜変調方式＞CCK (11Mbps、5.5Mbps)
DQPSK (2Mbps)
DBPSK (1Mbps)

＜LED インディケータ＞Link、Act

＜消費電力＞3.3V/1.48W

＜外形寸法＞119mm (L) × 54mm (W) × 6.8 (H) mm

＜重量＞40g

＜動作温度＞0 ～55 °C

＜動作湿度＞10 ～80%（結露しないこと）

＜EMI＞FCC Class B、CE、VCCI Class B

設置環境への注意

ワイヤレスLAN はケーブルの配線や工事等が必要ないため誰でも簡単に使用することが可能ですが設置場所または通信したい端末との間に以下の物質を使用した遮蔽物がある場合は、転送速度の低下あるいは通信出来ないなどの問題が生じます。安定した通信を行うには出来る限りこれらの環境要因を避けて設置してください。

環境要因	転送距離への影響 (*が多いほど、影響が大きいことを表します。)	具体例
空気	*	—
石材	**	木材の仕切り
石膏	**	仕切り壁
合成素材	**	ベニヤ板の仕切り
アスベスト	**	天井
ガラス	**	窓ガラス
水	***	湿った木材
煉瓦	***	煉瓦壁
大理石	****	石壁
セメント コンクリート	****	床、壁
防弾ガラス	****	哨舎
鉄	*****	鉄の仕切り 強化コンクリート壁

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

<http://www.planex.co.jp/user/>

弊社へのお問い合わせ

■弊社製品の追加購入

弊社製品のご購入は、販売店様またはPCIダイレクトまで。

ケーブル1本からレイヤ3スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

〈PCIダイレクト〉

<http://direct.planex.co.jp/>

■製品に関するお問い合わせ

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。

ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

〈ご質問/お見積もりフォーム〉

<http://www.planex.co.jp/lan.shtml>

■技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

〈お問い合わせフォーム〉

<http://www.planex.co.jp/support/techform/>

受付：24時間

〈電話〉

フリーダイヤル：0120-415977

受付：月～金曜日、10～12時、13～17時

*祝祭日および弊社規定の休業日を除く

〈FAX〉

ファクス番号：03-5614-1018

受付：24時間

◇お問い合わせ前のお願ひ

サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。

お客様のご協力お願いいたします。

- ・弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
- ・ご利用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名 (Windows XP/Meなど)
- ・ご利用のネットワークの環境 (回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など)
- ・ご質問内容 (現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください)

■その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

ブラネックスコミュニケーションズ

<http://www.planex.co.jp/>

注) 上記内容は2002年5月現在の情報です。内容は予告なく変更または削除される場合があります。ご了承ください。

質 問 表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当 行

FAX : 03-5614-1018

送信日 : _____

会社名			
部署名			
名前			
電 話		F A X	
E-MAIL			

製品名	11Mbps 無線 LAN PC カード
型番 Product No.	GW-NS11C
製造番号 Serial No.	

① ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

② ソフトウェア

ネットワーク OS	バージョン
OS	バージョン

③ 質問内容

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

保証規定

ブラネックスコミュニケーションズ(株)は、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。

本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保証期間内に故障・不具合が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応を行います。

ただし、次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。

1. 本保証書がない場合。
2. 本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店印の記入がない場合、または字句が改ざんされている場合。
3. 取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障及び損傷。
4. ご購入後の輸送・移動・落下による故障及び損傷。
5. 火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原因がある故障および損傷。
6. 他の機器との接続に起因する故障・損傷。

初期不良交換

保証期間発生日より1ヶ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。

ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。また、当サービスをご利用頂くには、お買い上げ商品の全ての付属品が揃っていることが条件になります。

◎初期不良・修理依頼の手順(センドバック方式)

弊社では、センドバック(先に修理依頼品をお送りいただき、弊社より修理完了品をご返却する)方式による修理対応を行っております。

1. 本製品に故障・不具合が発生した場合、弊社サポートセンターまでご連絡ください。お送り先をご案内させていただきます。

ブラネックスコミュニケーションズ(株) サポートセンター

フリーダイヤル・0120-415977 FAX・03-5614-1018

Web・<http://www.planex.co.jp/support/repair/>

2. ご案内に従って、修理依頼品を弊社リペアセンターまでお送りください。
(誠に勝手ながら、リペアセンターへお送りいただく際の送料はお客様のご負担でお願いいたします。)
3. 当該初期不良・修理品の到着後、初期不良の場合は交換品、修理の場合は修理完了品をお送りいたします。

免責事項

- ・お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害(事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等)につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証致しません。

保証書

● 弊社の保証規定を必ずご覧ください ●

保証期間 Warranty	西暦 年 月 日 より 1年間
製品名 Product name	11Mbps 無線 LAN PC カード
型番 Product No.	GW-NS11C
製造番号 Serial No.	

フリガナ	
会社名	
部署名	
フリガナ	
お名前	
フリガナ	
ご住所	□ □ □ - □ □ □ □ 都 道 府 県
TEL	
FAX	
メールアドレス	

ご購入代理店名 所在地	
----------------	--

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

GW-NS11C マニュアル補足文

SS Manual No.PHM-02-10-18-JF-GW-NS11C Version 1.0

このたびは、PCI製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
付属のマニュアルに一部追加、訂正がございます。

■設定ユーティリティに関する追加分

第7章 設定ユーティリティのインストールと設定

本製品はWindows XPのワイヤレス・ゼロコンフィグレーションに対応しています。
その為Windows XP上で本製品をご利用になる場合はワイヤレス・ゼロコンフィグレーションがデフォルトで有効になっています。
Windows XP上で本製品付属の設定ユーティリティを使用する場合には以下の手順で行います。

1. 「スタート」をクリックしスタートメニューから「接続」→「ワイヤレスネットワーク接続」を選択します。
2. 「ワイヤレスネットワーク接続の状態」の画面が表示されますので「プロパティ」をクリックします。

注意

他の無線LAN機器と接続が確立されていない場合は「ワイヤレスネットワークへの接続」の画面が表示されます。この場合は「詳細設定」をクリックします。

3. 「ワイヤレスネットワーク」のタブを選択します。「Windowsを使ってワイヤレスネットワークの設定を構成する」のチェックマークを外します。
4. 「OK」のボタンをクリックします。タスクトレイに本製品のユーティリティが常駐しますので、第7章「2.設定ユーティリティを使用する」の手順で本製品の設定を行います。

■WindowsXPへのドライバインストールに関する訂正文

誤: 1-8 「Install Shieldウィザード」の画面が表示されます。「はい。今すぐコンピュータを再起動します。」を選択してから「完了」ボタンをクリックします。

1-9 コンピュータを再起動後、本製品をコンピュータのPCカードスロットにセットします。

正: 1-8 「Install Shieldウィザード」の画面が表示されますので「完了」ボタンをクリックします。

1-9 本製品をコンピュータのPCカードスロットにセットします。

今後ともPCI製品をご愛顧いただけますよう、お願い申し上げます。